

東通原子力発電所

温排水影響調査結果報告書(案)

令和 8 年度
(第 1 四半期報)

令和 8 年

青 森 県

ま え が き

青森県及び東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が施設前面海域及び周辺海域に与える影響を把握するため、「東通原子力発電所温排水影響調査実施計画」に基づき、平成 15 年 4 月から、海洋環境と海生生物の調査を実施しています。

なお、海洋環境調査項目（取放水温度、水温・塩分、流況、水質、底質）では、温排水の影響による水温上昇域の把握と取放水に伴い海洋環境が変化していないかを確認することを、海生生物調査項目（卵・稚仔、プランクトン、海藻草類、底生生物）では、温排水の影響により発電所前面海域において海生生物が変化していないかを確認することを目的としています。

本報告書は、青森県及び東北電力株式会社が令和 8 年 4 月から 6 月までの令和 8 年度第 1 四半期において実施した原子力施設前面海域及び周辺海域における水温・塩分等の海洋環境と卵・稚仔等の海生生物の調査結果をとりまとめ、令和 8 年 月 日に開催された青森県環境放射線等監視評価会議評価委員会において検討・評価されたものです。

令和 8 年 11 月

青森県

目 次

1. 調査概要

(1) 調査機関	1
(2) 調査期間	1
(3) 調査項目	1
(4) 調査位置	2
(5) 調査結果の概要	10

2. 東通原子力発電所周辺海域における海域環境調査結果

[青森県実施分]

(1) 水温・塩分	12
-----------------	----

3. 東通原子力発電所前面海域における海域環境調査結果

[東北電力(株)実施分]

(1) 取放水温度	19
(2) 水温・塩分	21
(3) 流 況	28
(4) 水 質	29
(5) 底 質	31
(6) 卵・稚仔	33

(7) プランクトン	36
(8) 海藻草類	40
(9) 底生生物（メガロベントス）	42

資 料 編

1. 青森県実施分	45
2. 東北電力(株)実施分	47

1. 調査概要

(1) 調査機関

青森県・地方独立行政法人 青森県産業技術センター水産総合研究所
東北電力株式会社

(2) 調査期間

青 森 県 ： 令和 8 年 6 月 1 日
東北電力(株)：令和 8 年 4 月 1 日～6 月 30 日

なお、今回の調査は発電所停止中に実施したものである。

注 1) 発電所停止中とは、発電所稼働前や定期検査等の理由により、調査時の電気出力が 0kW と
なっていることを示す。

注 2) 発電所稼働中とは、調査時の電気出力が確認されていることを示す。

(3) 調査項目

調査項目を表－1.1～1.2 に示す。

表－1.1 調査項目 [青森県実施分]

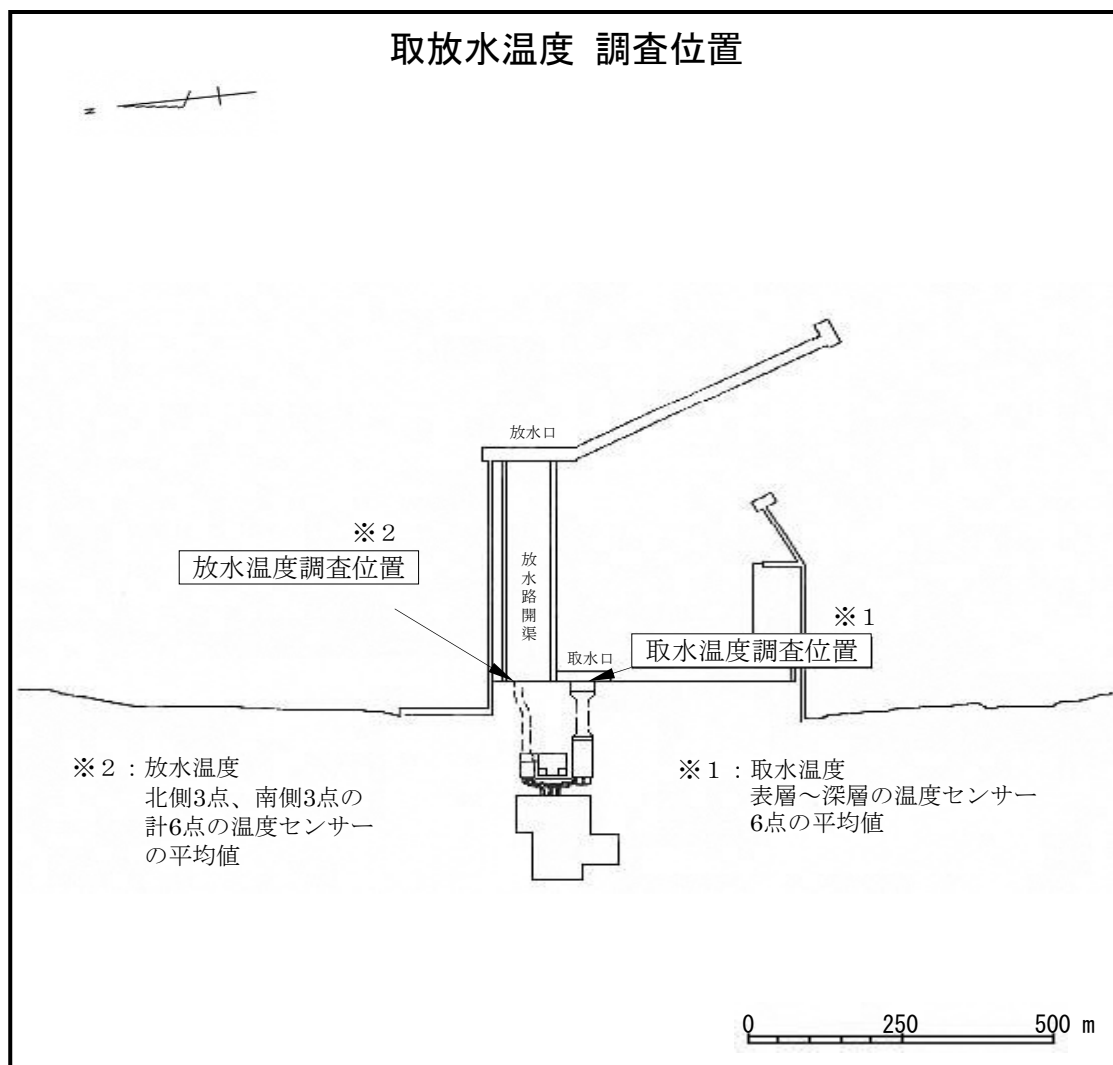
調 査 項 目		調 査 目 的	調査点数	調 査 水 深
海洋環境	水温・塩分	温排水の影響による水温 上昇域を確認する。	5 点	表層、10、20、30、50m

表－1.2 調査項目〔東北電力(株)実施分〕

調 査 項 目		調 査 目 的	調査点数	調 査 水 深
海 洋 環 境	取放水温度		取放水温度差が 7℃以下であることを確認する。	
	水温・塩分		19 点	取水口および放水口 0.5m、1～10mまで1m間隔、 15m、20m、海底上 2m
	流 況 (流向・流速)		2 点	2m
	水 質	水素イオン濃度 (pH)	8 点	0.5m、5m、 水深 21m未満の場合は海底上 1m、 水深 21m以深の場合は海面下 20m
		化学的酸素要求量 (COD)		
		溶存酸素量 (DO)		
		塩 分		
		透明度		
		浮遊物質量 (SS)		
		水 温		
		全窒素 (T-N)		
		全リン (T-P)		
	底 質	化学的酸素要求量 (COD)	3 点	海 底
		強熱減量 (IL)		
		全硫化物 (T-S)		
		粒度組成		
海 生 生 物	卵・稚仔		6 点	0.5m、5m
	プ ラ ン ク ト ン	動物プランクトン	6 点	0～5m、 水深 21m未満の場合は 5m～ 海底上 1m、水深 21m以深の 場合は 5～20m
		植物プランクトン		0.5m、5m
	海藻草類、底生生物 (メガロベントス)		4 測線	水深 20m以浅

(4) 調査位置

調査位置図を図－1.1～1.7 に示す。調査海域は、東通原子力発電所から南偏した調査点を設定した。



図－1.1 取放水温度 調査位置

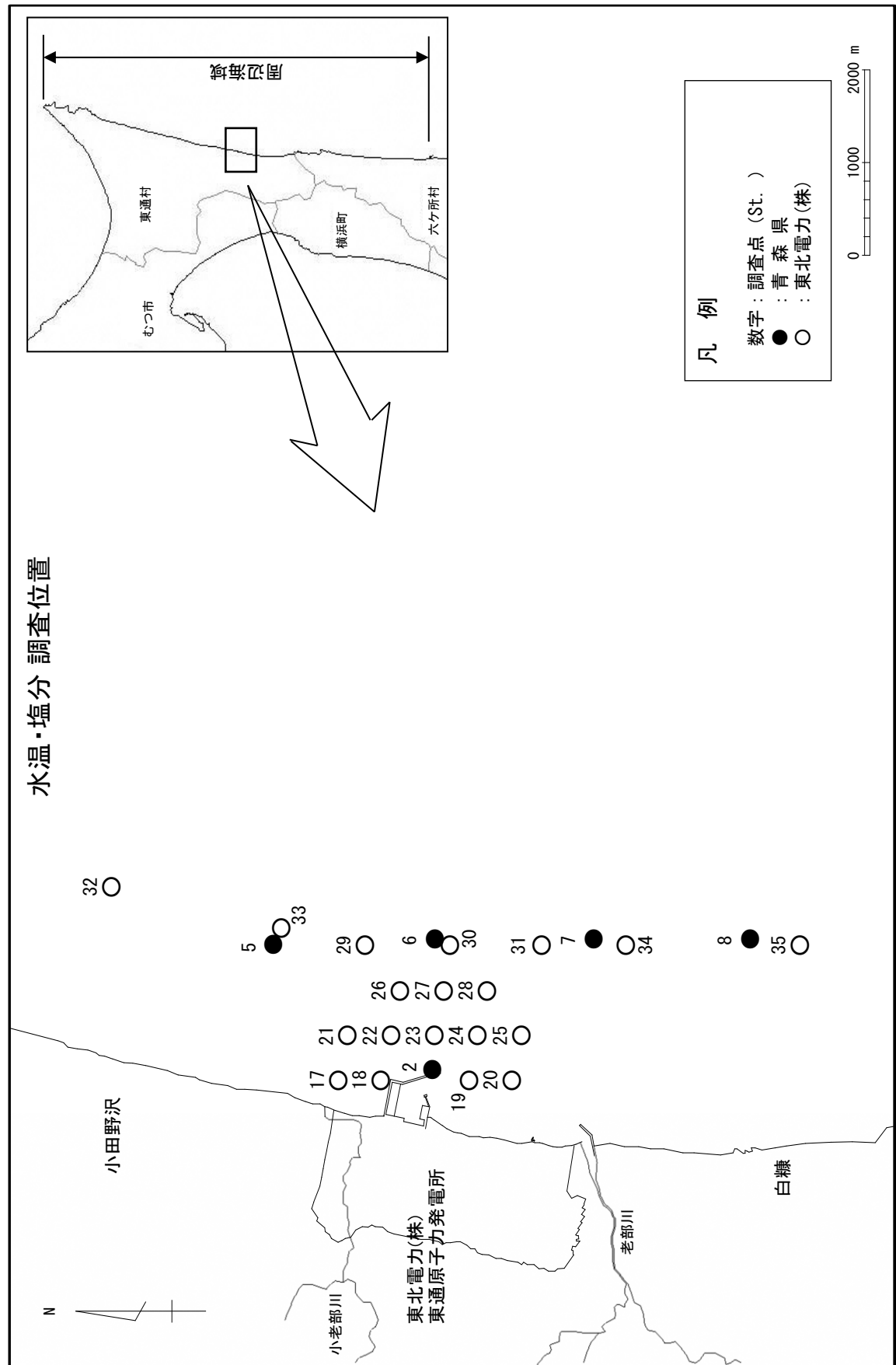
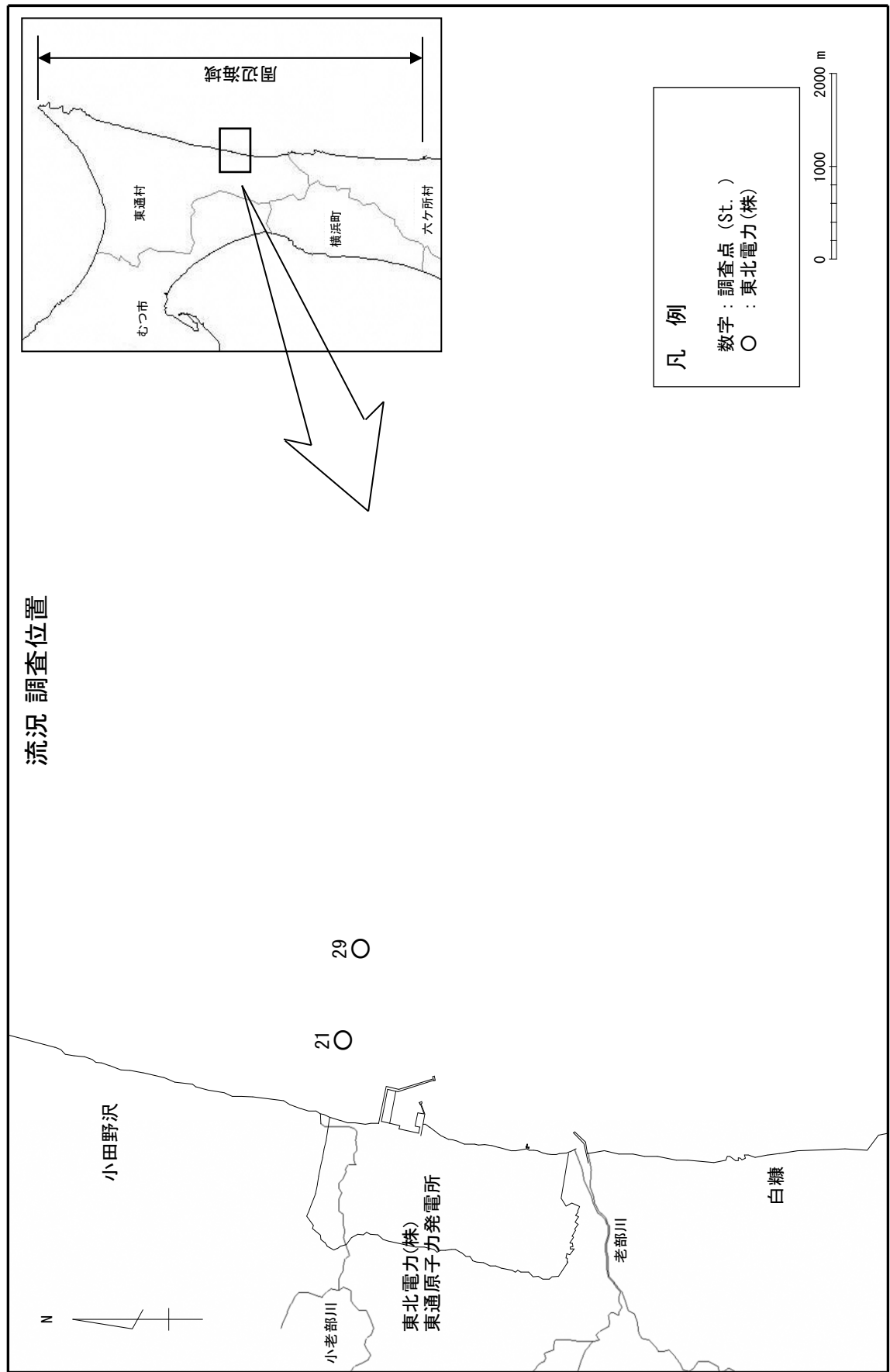


図-1.2 水温・塩分 調査位置



図－1.3 流況 調査位置

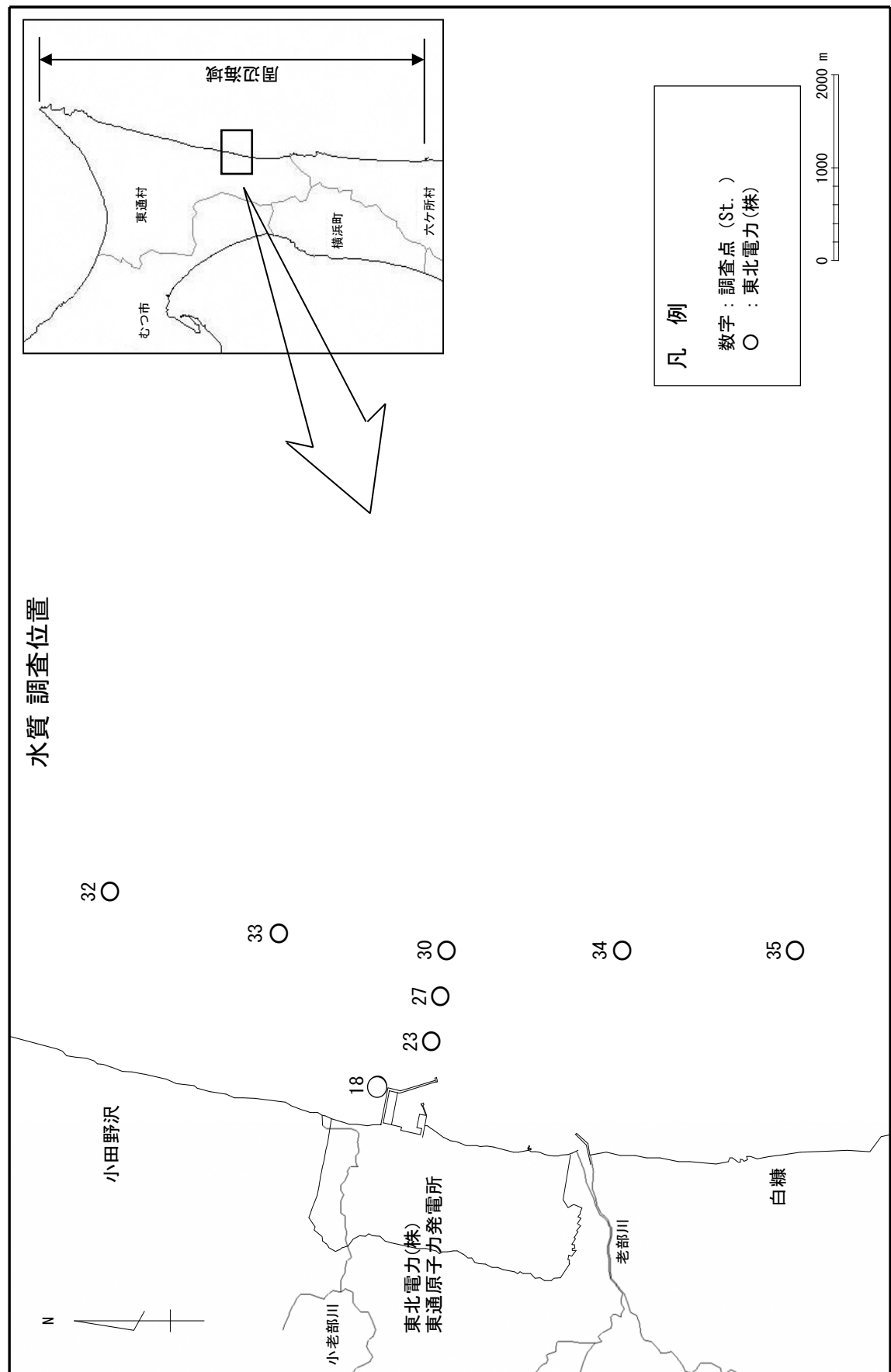
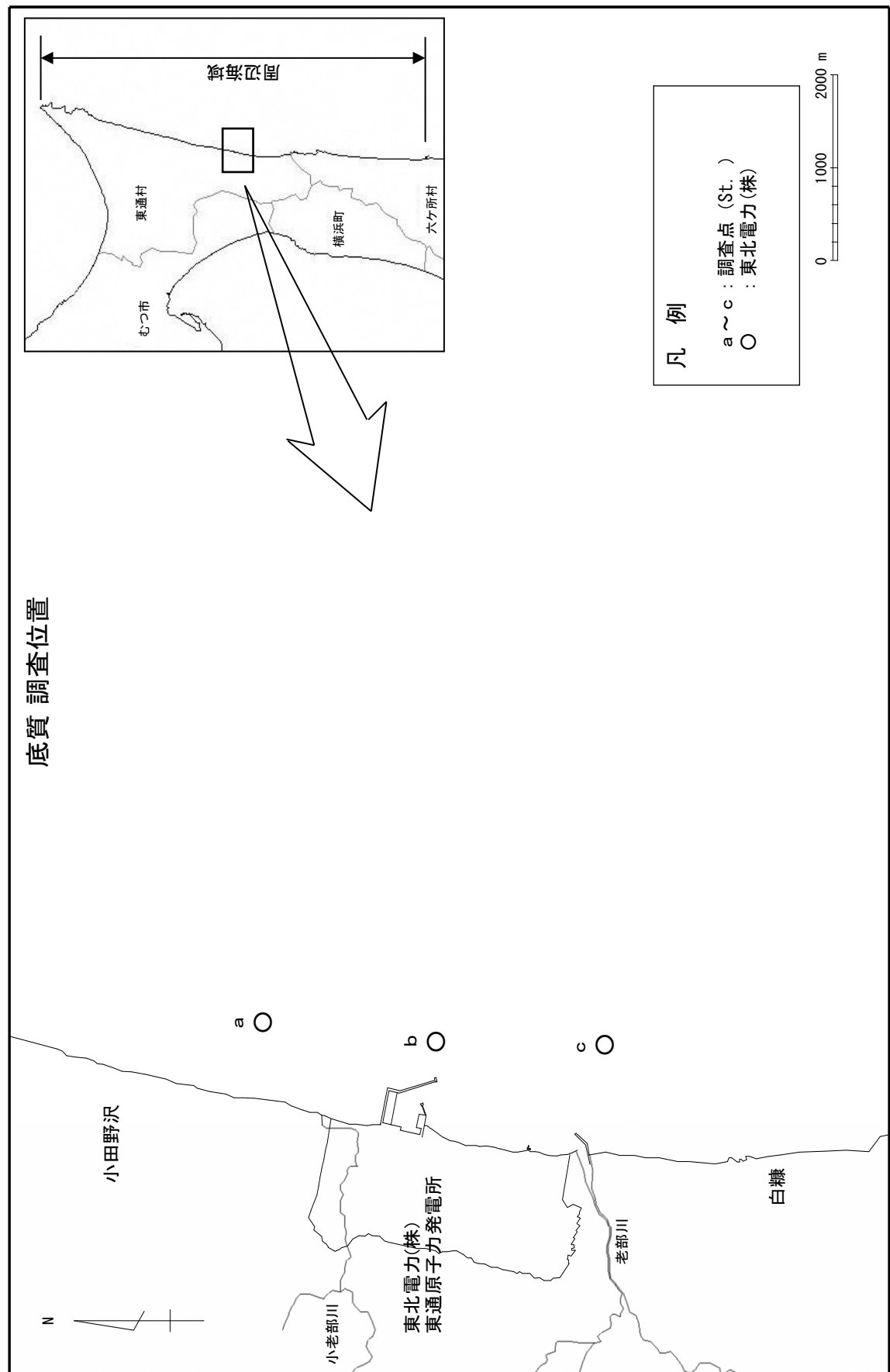
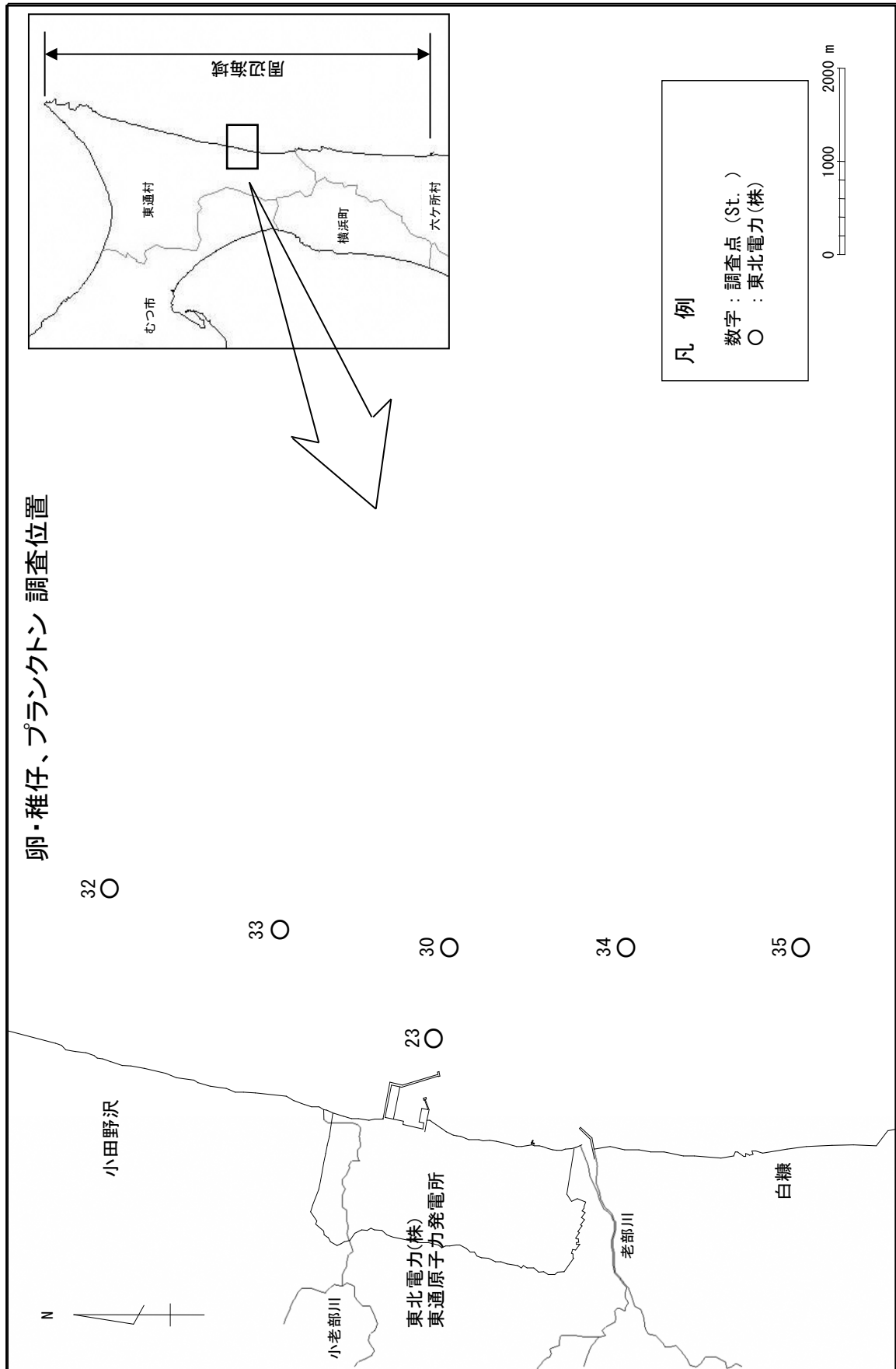


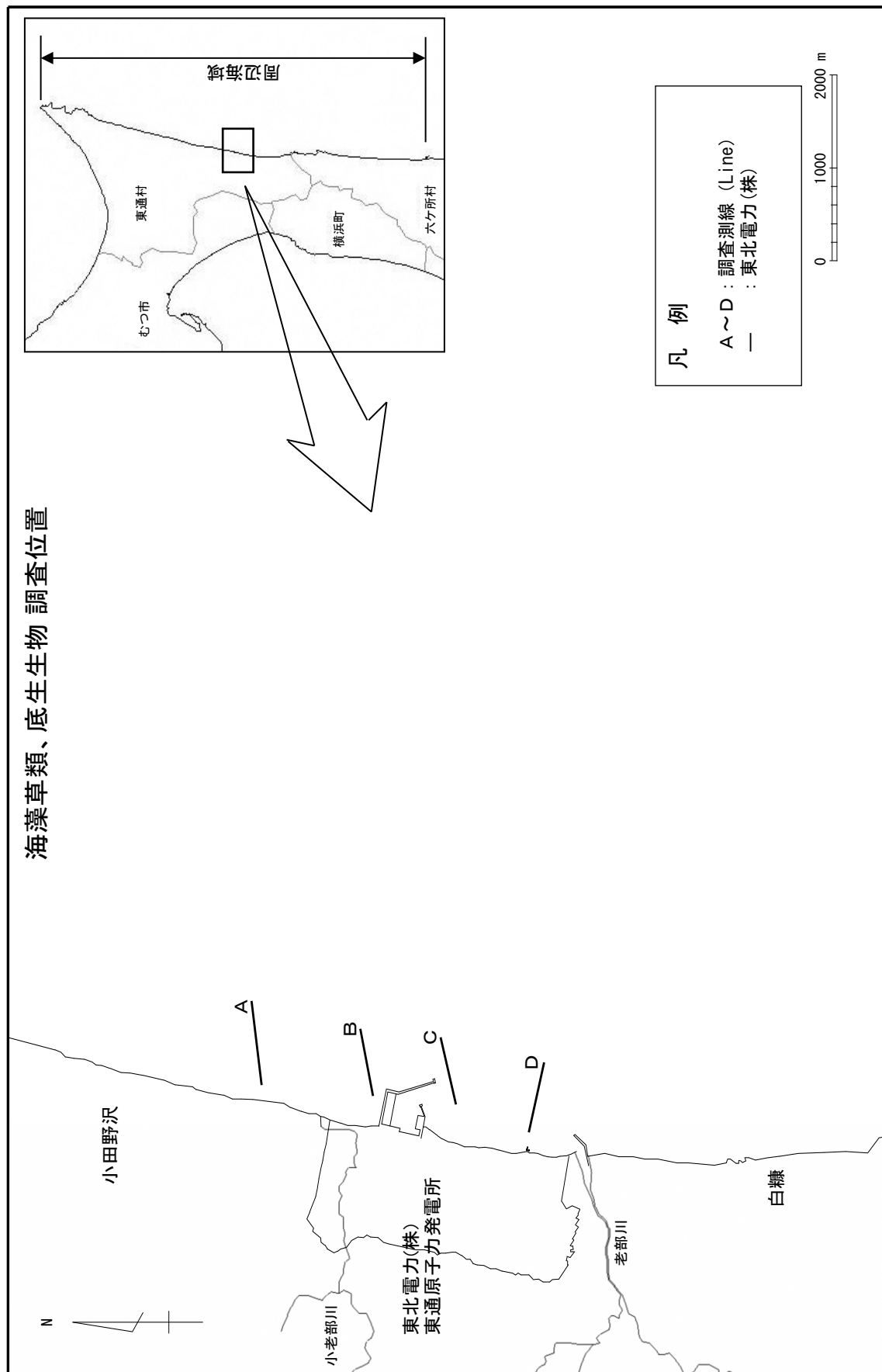
図-1.4 水質 調査位置



図一.1.5 底質 調査位置



図－1.6 卵・稚仔、プランクトン 調査位置



図－1.7 海藻草類、底生生物 調査位置

(5) 調査結果の概要

今期の調査において、青森県実施分及び東北電力実施分ともに温排水の影響と考えられる結果は観測されなかった。

なお、今期の調査は発電所停止中の調査であった。

a. 青森県実施分

令和8年度第1四半期（令和8年6月1日）に、青森県が実施した調査結果の概要は、以下のとおりであった。

(a) 水温・塩分

全5調査点において、水温・塩分の測定を行った。水温は、表層、全体、水温較差において過去同期の停止中の範囲内にあった。

なお、塩分は、海域全体で一様であった。

b. 東北電力(株)実施分

令和8年度第1四半期(令和8年4月1日~6月30日)に、東北電力(株)が実施した調査結果の概要は、以下のとおりであった。

(a) 取放水温度

調査期間を通じて、取放水温度差は、7℃以内に収まっていた。

(b) 水温・塩分

全19調査点において、水温・塩分の測定を行った。水温は、0.5m層、全体、水温較差において過去同期の停止中の範囲内にあった。

なお、塩分は、海域全体で一様であった。

(c) 流況

全2調査点における流向別流速出現頻度は、過去同期と同様の傾向であった。

(d) 水質

全8調査点において採水し、水質分析を行い、水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素量(DO)、塩分、透明度、浮遊物質(SS)、水温、全窒素(T-N)、全リン(T-P)は、過去同期の範囲内にあった。

(e) 底質

全3調査点において採泥し、底質分析を行い、全調査点において、化学的酸素要求量(COD)、強熱減量(IL)、全硫化物(T-S)、粒度組成は過去同期の範囲内にあった。

(f) 卵・稚仔

卵の出現種類数、出現平均個数は、過去同期と同様の傾向であった。

稚仔の出現種類数、出現平均個体数は、過去同期と同様の傾向であった。

(g) プランクトン

動物プランクトンの出現種類数、出現平均個体数は、過去同期と同様の傾向であった。

植物プランクトンの出現種類数、出現平均細胞数は、過去同期と同様の傾向であった。

(h) 海藻草類、底生生物

海藻草類の出現種類数は、過去同期と同様の傾向であった。

底生生物の出現種類数、出現平均個体数は、過去同期と同様の傾向であった。

2. 東通原子力発電所周辺海域における海域環境調査結果

[青森県実施分]

(1) 水温・塩分

調査位置：St. 2、5～8（5調査点、図－1.2 参照）

発電所稼働状況：停止中

a. 水温

(a) 水温（表層）

表層における水温水平分布を図－2.1 に、過去同期の水温範囲を表－2.1 に示す。

今期の表層における水温は 13.8°C ～ 14.9°C の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

なお、表層における水温の経年変化は図－2.2 に示す。

(b) 水温（全体）

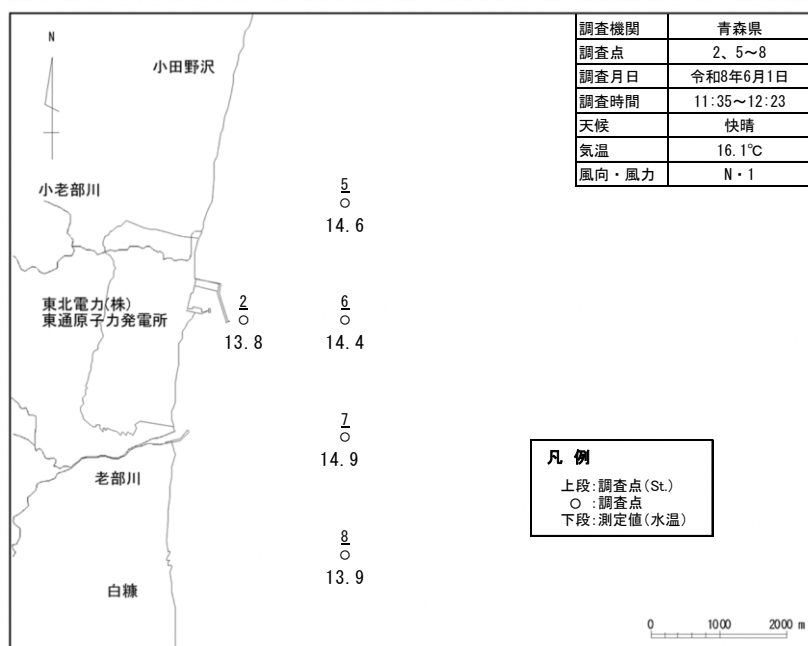
水温鉛直分布を図－2.3 に、全体（50m層まで）における過去同期の水温範囲を表－2.2 に示す。

今期の全体における水温は 11.8°C ～ 14.9°C の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

(c) 水温較差

表層における放水口前面（St. 2）と発電所周辺（St. 5～8）の水温較差を表－2.3 に、過去同期の水温較差の範囲を表－2.4 に示す。

今期の水温較差は -1.1°C ～ -0.1°C の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。



図－2.1 水温水平分布図（表層）

表－2.1 過去同期の水温範囲（表層）

（単位：℃）

調査時期	第1四半期
発電所停止中	10.8～16.5
発電所稼働中	12.0～16.4

注 1) 発電所停止中の水温範囲は、平成15年度～平成17年度、平成20年度、平成23年度～令和7年度のものである。

注 2) 発電所稼働中の水温範囲は、平成18年度～平成19年度、平成21年度～平成22年度のものである。

表－2.2 過去同期の水温範囲（全体）

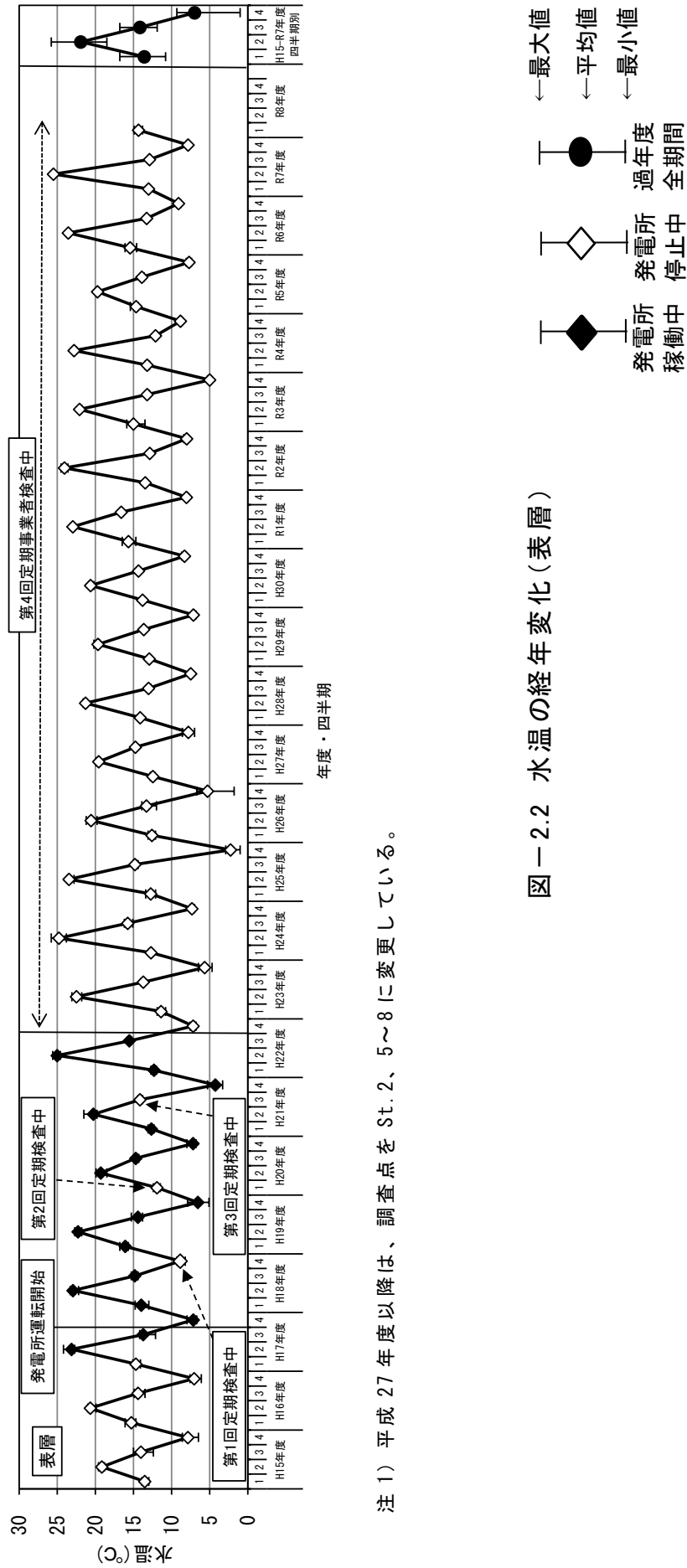
（単位：℃）

調査時期	第1四半期
発電所停止中	10.0～16.5
発電所稼働中	11.0～16.4

注 1) 青森県実施分における全体の水温は、水深50m層までを集計している。

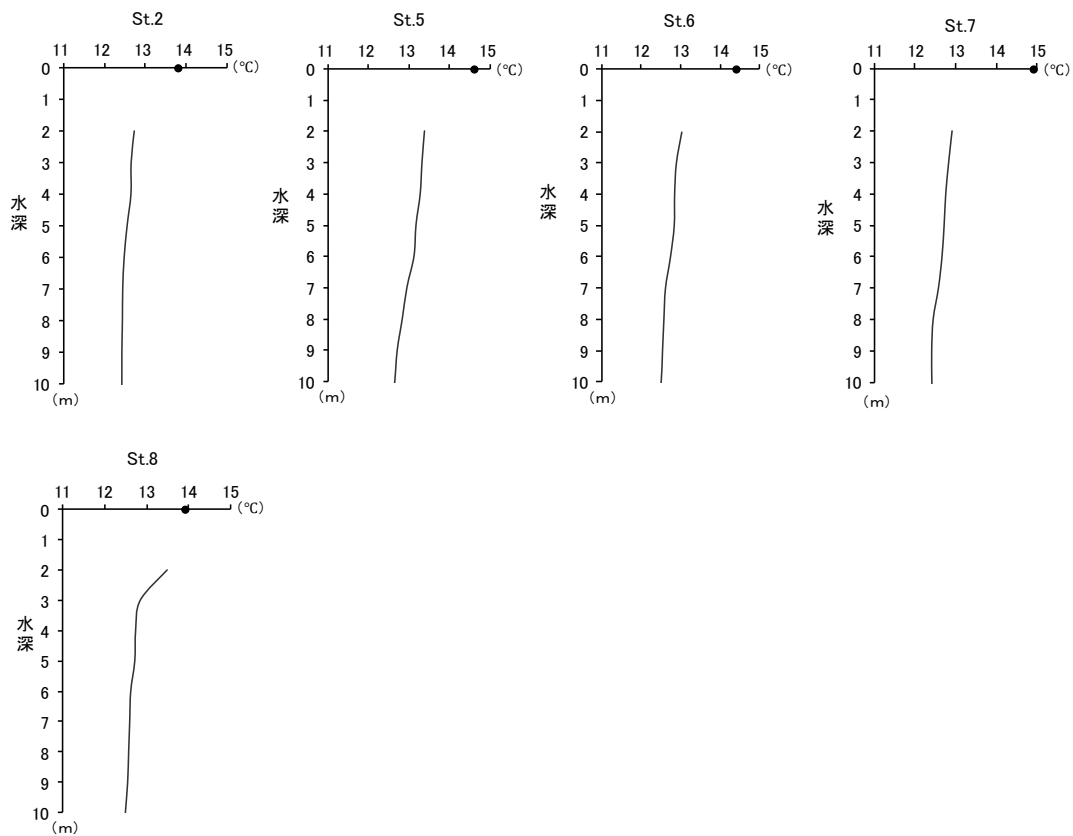
注 2) 発電所停止中の水温範囲は、平成15年度～平成17年度、平成20年度、平成23年度～令和7年度のものである。

注 3) 発電所稼働中の水温範囲は、平成18年度～平成19年度、平成21年度～平成22年度のものである。



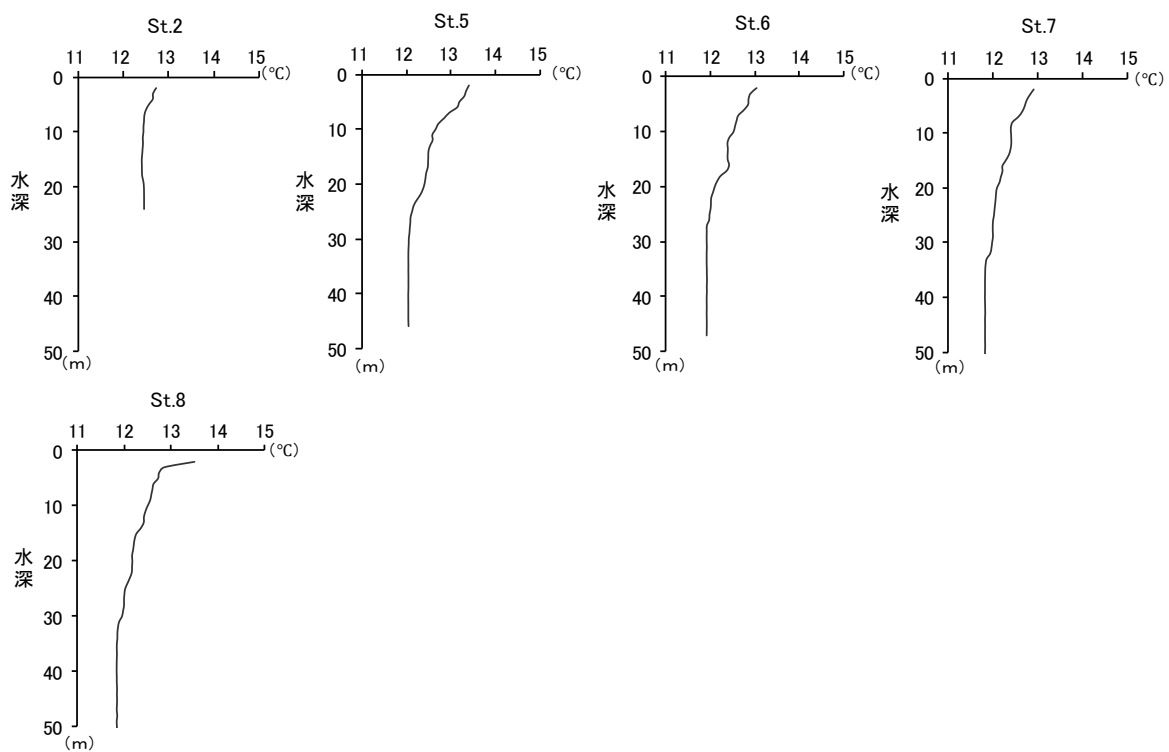
図一2.2 水温の経年変化(表層)

注 1) 平成 27 年度以降は、調査点を St. 2、5～8 に変更している。



図－2.3 (1) 水温鉛直分布図（水深 10m以浅）

注 1) 表層（●で示したもの）は採水データ、それ以外は C T D データ。



図－2.3 (2) 水温鉛直分布図（全体）

表－2.3 放水口前面と発電所周辺の水溫較差（表層）

（単位：℃）

比較調査点	St. 2 との 水溫較差
St. 5	-0.8
St. 6	-0.6
St. 7	-1.1
St. 8	-0.1

表－2.4 過去同期の水溫較差範囲（表層）

（単位：℃）

調査時期	第 1 四半期
発電所停止中	-2.4～1.8
発電所稼働中	-0.5～0.4

注 1) 発電所停止中の水溫較差範囲は、平成 15 年度～平成 17 年度、平成 20 年度、平成 23 年度～令和 7 年度のものである。

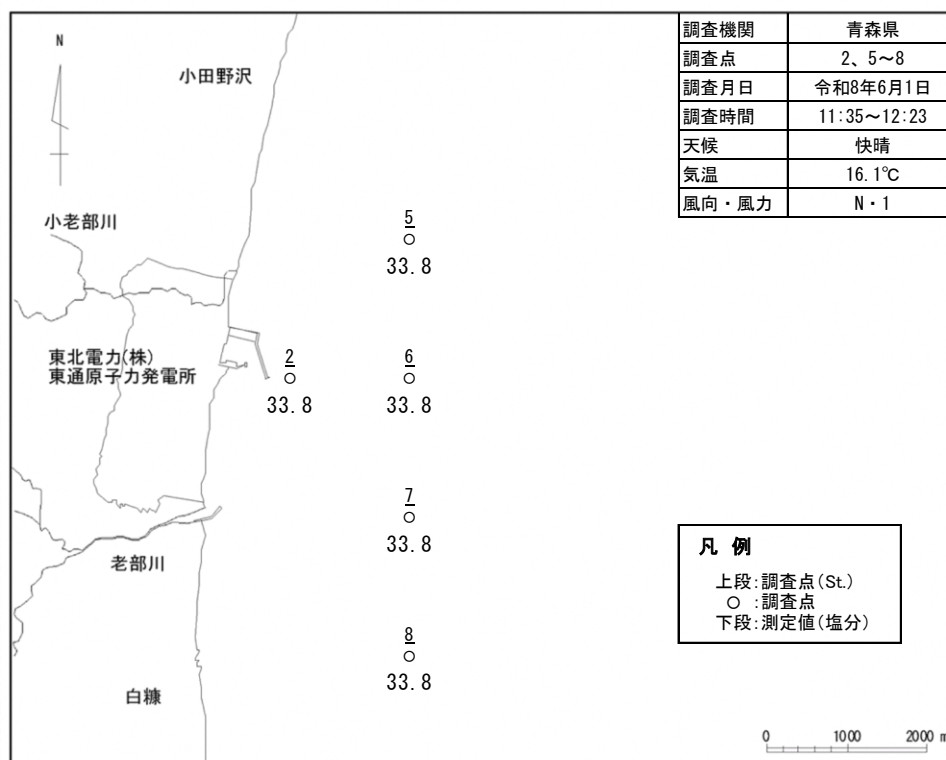
注 2) 発電所稼働中の水溫較差範囲は、平成 18 年度～平成 19 年度、平成 21 年度～平成 22 年度のものである。

b. 塩 分

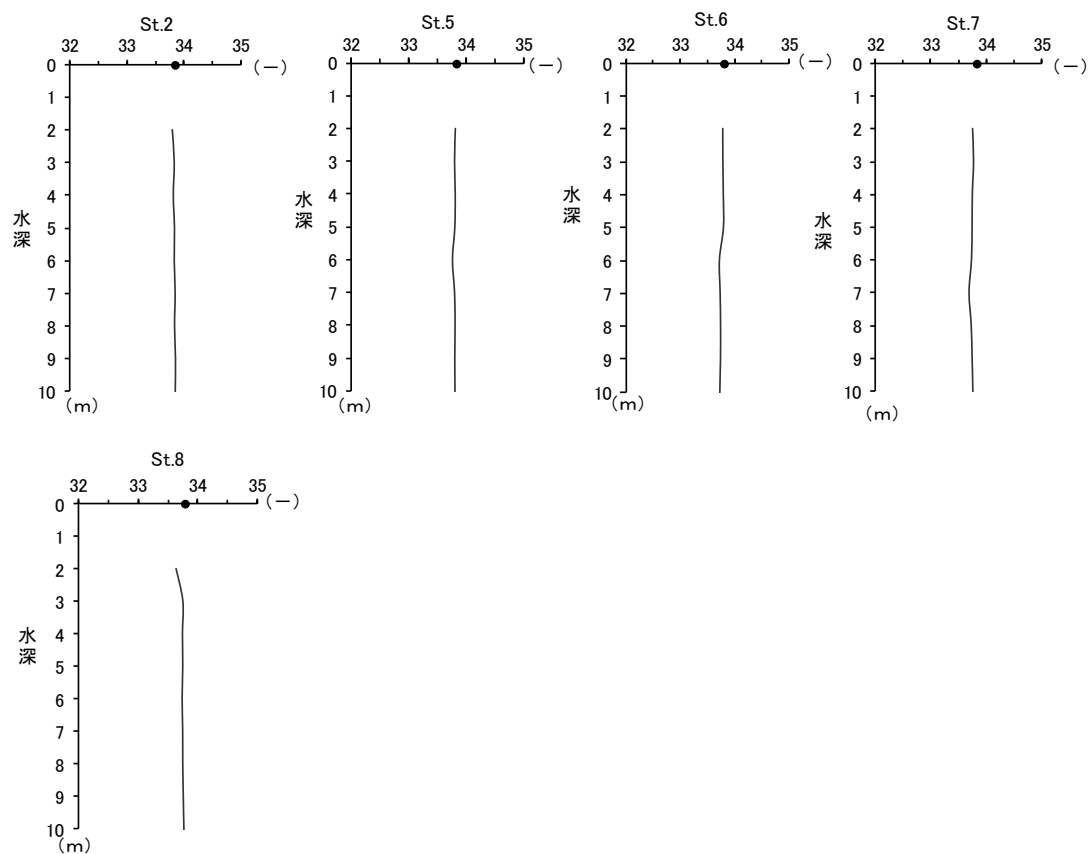
表層における塩分水平分布を図－2.4 に示す。表層における塩分は全調査点で 33.8 であった。

また、塩分鉛直分布を図－2.5 に示す。全体の塩分は 33.7～33.9 の範囲であった。

塩分は、海域全体で一様であった。

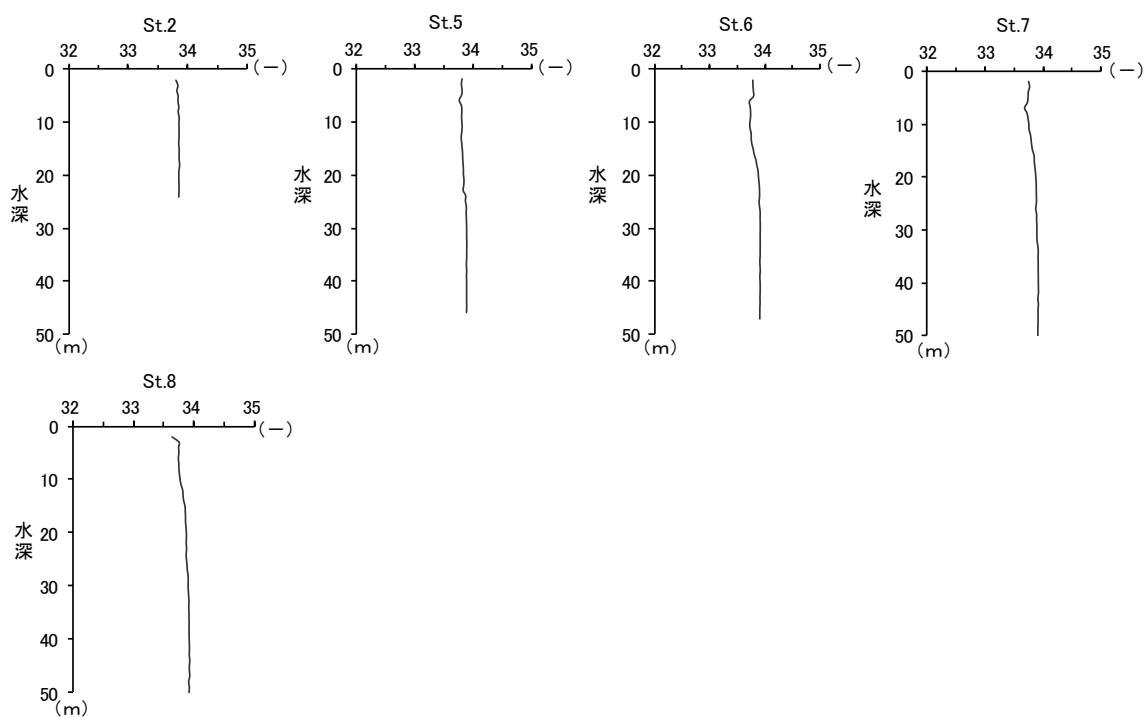


図－2.4 塩分水平分布図（表層）



図－2.5 (1) 塩分鉛直分布図（水深 10m 以浅）

注 1) 表層（●で示したもの）は採水データ、それ以外は C T D データ。



図－2.5 (2) 塩分鉛直分布図（全体）

3. 東通原子力発電所前面海域における海域環境調査結果

[東北電力(株)実施分]

(1) 取放水温度

調査位置：取水口、放水口（2 調査点、図－1.1 参照）

発電所稼働状況：停止中

調査結果を表－3.1 に示す。

取水口の水温は、7.6℃～16.8℃の範囲であり、月毎の平均値は9.5℃～14.6℃の範囲であった。

放水口の水温は、8.1℃～17.6℃の範囲であり、月毎の平均値は9.9℃～15.2℃の範囲であった。

なお、取放水温度における経年変化は図－3.1 に示す。

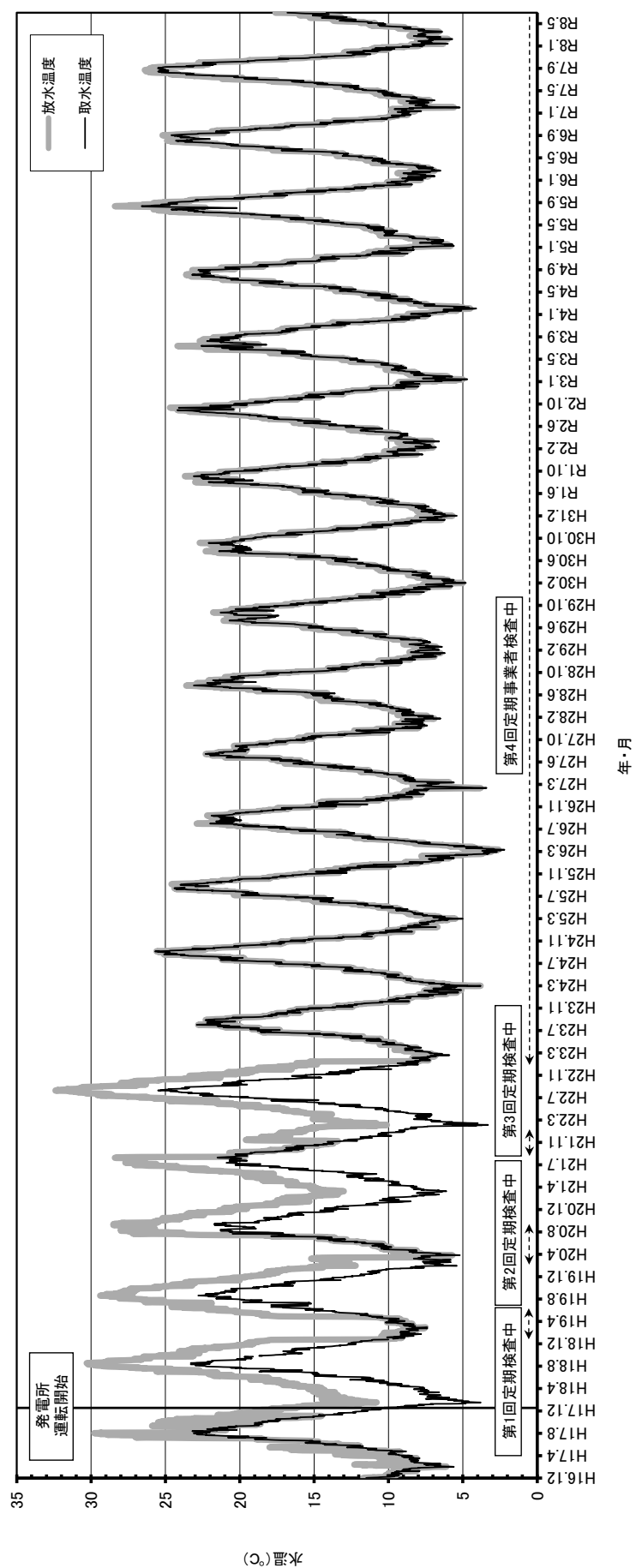
表－3.1 取放水温度調査結果

(単位：℃)

項目 \ 年月		令和 8 年		
		4 月	5 月	6 月
取水口	最大値	10.7	13.7	16.8
	最小値	7.6	10.3	12.8
	月毎の平均値	9.5	12.1	14.6
放水口	最大値	11.3	14.0	17.6
	最小値	8.1	10.9	13.2
	月毎の平均値	9.9	12.5	15.2

注 1) 水温は、日平均値である。

注 2) 放水口の水温度上昇は、発電所安全維持に必要な機器の冷却のため、海水と熱交換していることによる。



図一3.1 取放水温度における経年変化（日平均）

(2) 水温・塩分

調査位置：St. 17～35（19 調査点、図－1.2 参照）

発電所稼働状況：停止中

a. 水温

(a) 水温（0.5m層）

0.5m層における水温水平分布を図－3.2 に、過去同期の水温範囲を表－3.2 に示す。

今期の 0.5m層における水温は $11.5^{\circ}\text{C} \sim 11.9^{\circ}\text{C}$ の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

なお、0.5m層における水温の経年変化は図－3.3 に示す。

(b) 水温（全体）

水温鉛直分布を図－3.4 に、全体（20m層まで）における過去同期の水温範囲を表－3.3 に示す。

今期の全体における水温は $11.1^{\circ}\text{C} \sim 11.9^{\circ}\text{C}$ の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

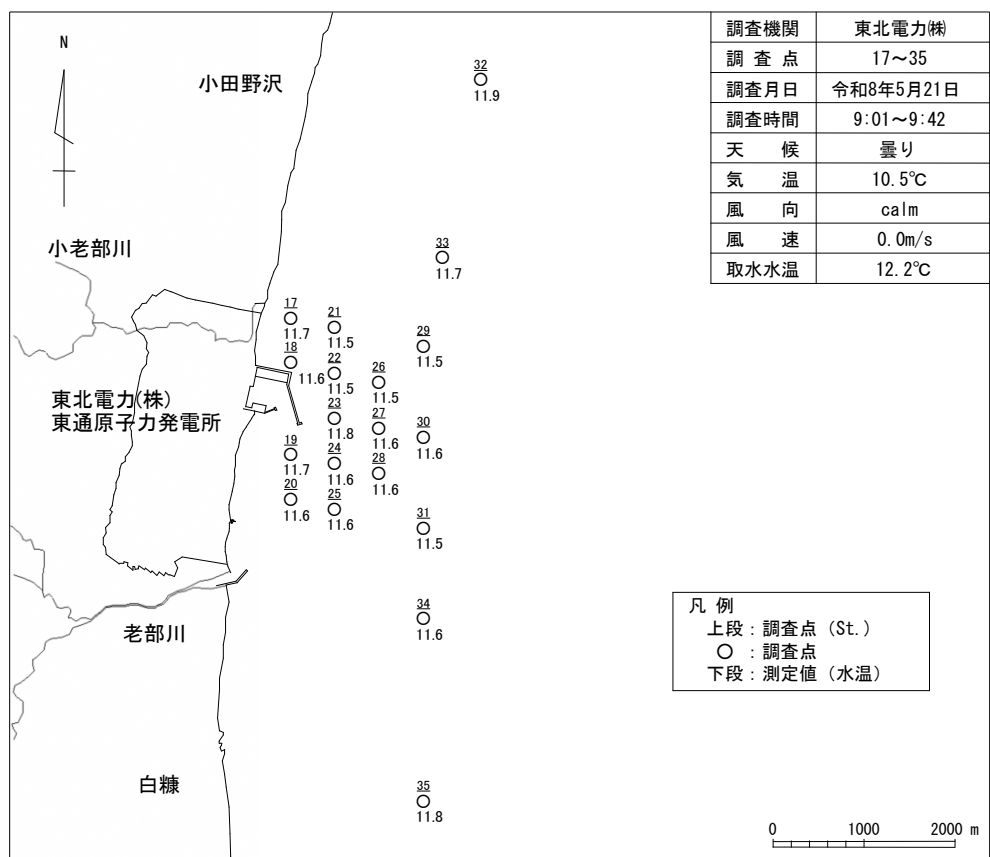
(c) 水温較差

放水口前面（St. 22、23）と発電所周辺（St. 29～35）の水温を比較した調査点の位置関係を図－3.5 に、0.5m層における水温較差を表－3.4 に、過去同期の水温較差の範囲を表－3.5 に示す。

今期の水温較差は $-0.4^{\circ}\text{C} \sim 0.3^{\circ}\text{C}$ の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

(d) 調査時の流れ

調査前日から調査当日の流れは、北流と南流が交互にみられ、調査時は岸沿いでは南流傾向を示し、沖合では南流から北流への推移がみられた。



図－3.2 水温水平分布図（0.5m層）

表－3.2 過去同期の水温範囲（0.5m層）

（単位：℃）

調査時期	第1四半期
発電所停止中	9.7～14.3
発電所稼働中	9.1～12.2

注1) 発電所停止中の水温範囲は、平成16年度、平成20年度、平成23年度～令和7年度のものである。

注2) 発電所稼働中の水温範囲は、平成17年度～平成19年度、平成21年度～平成22年度のものである。

表－3.3 過去同期の水温範囲（全体）

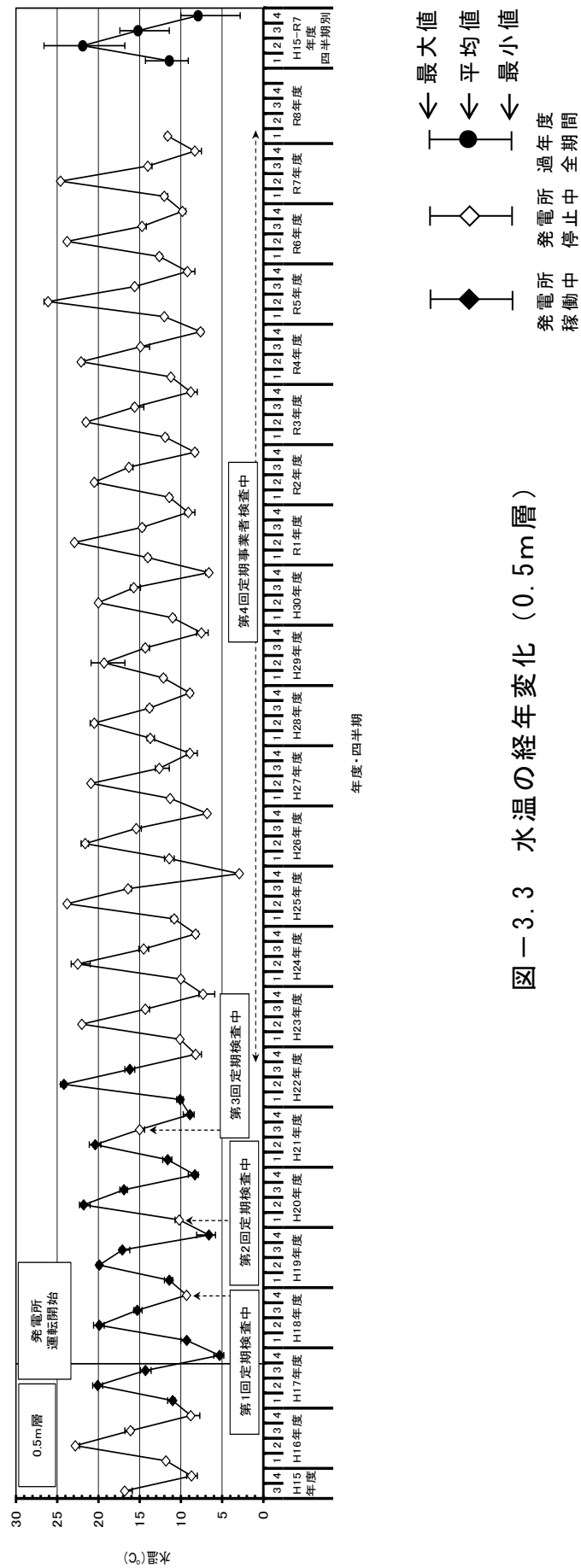
（単位：℃）

調査時期	第1四半期
発電所停止中	9.3～14.3
発電所稼働中	8.7～12.2

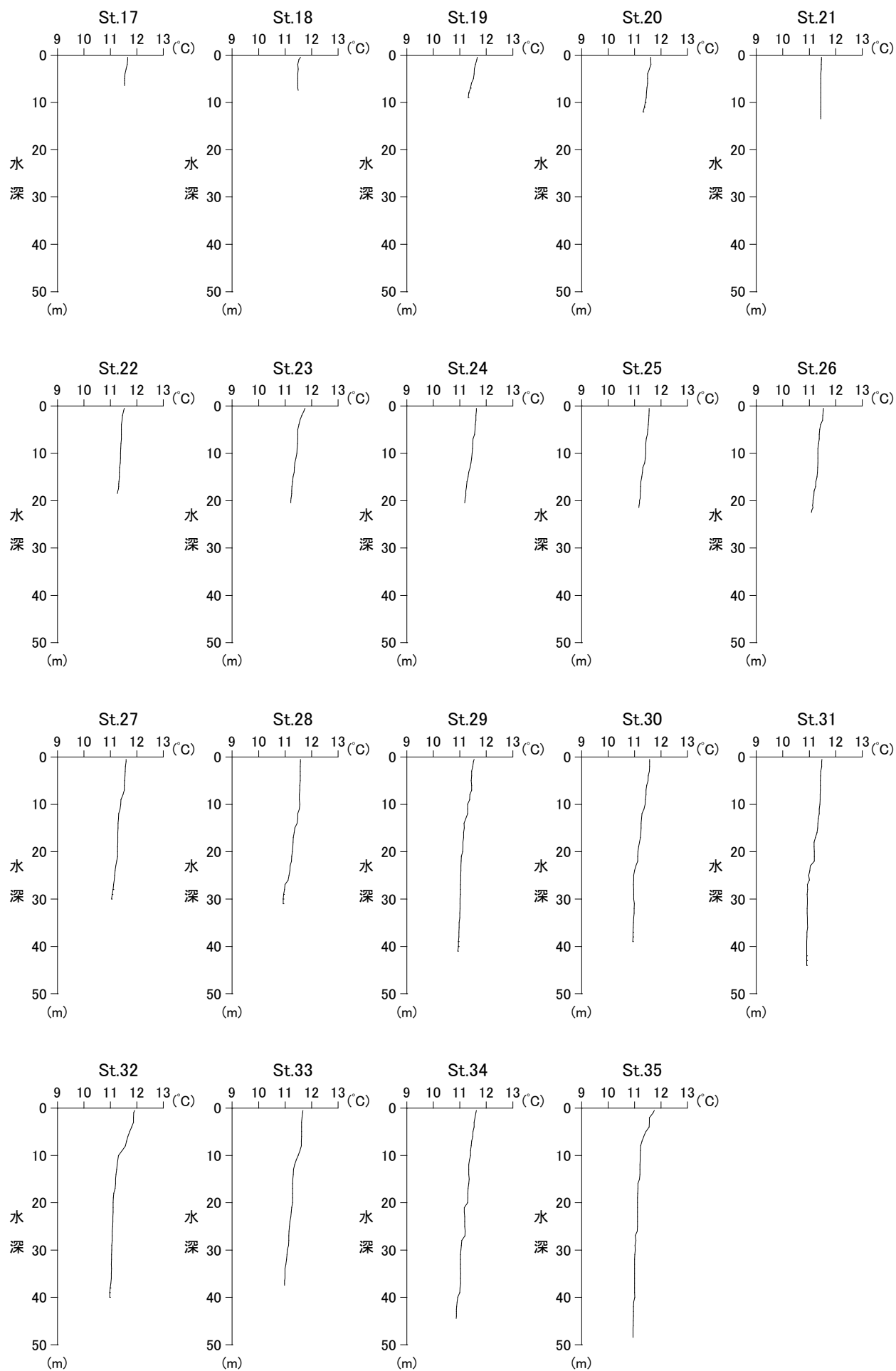
注1) 東北電力(株)実施分における全体の水温は、水深20m層までを集計している。

注2) 発電所停止中の水温範囲は、平成16年度、平成20年度、平成23年度～令和7年度のものである。

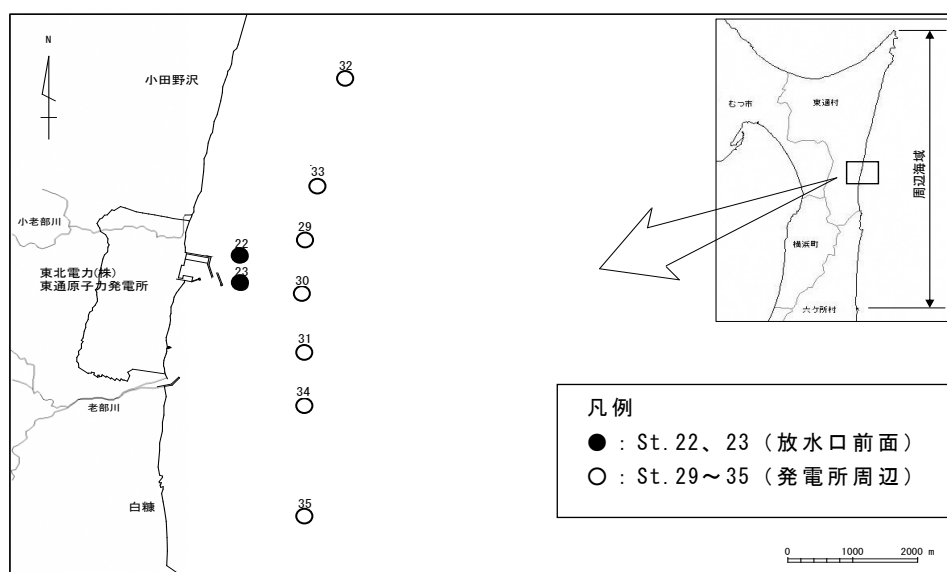
注3) 発電所稼働中の水温範囲は、平成17年度～平成19年度、平成21年度～平成22年度のものである。



図一3.3 水温の経年変化（0.5m層）



图—3.4 水温鉛直分布図



図－3.5 水温を比較した調査点の位置関係

表－3.4 放水口前面と発電所周辺の水温較差（0.5m層）

（単位：℃）

比較調査点	St. 22 との 水温較差	St. 23 との 水温較差
St. 29	0.0	0.3
St. 30	-0.1	0.2
St. 31	0.0	0.3
St. 32	-0.4	-0.1
St. 33	-0.2	0.1
St. 34	-0.1	0.2
St. 35	-0.3	0.0

表－3.5 過去同期の水温較差範囲（0.5m層）

（単位：℃）

調査時期	第1四半期
発電所停止中	-1.0～0.7
発電所稼働中	-0.3～1.0

注1) 発電所停止中の水温較差範囲は、平成16年度、平成20年度、平成23年度～令和7年度のものである。

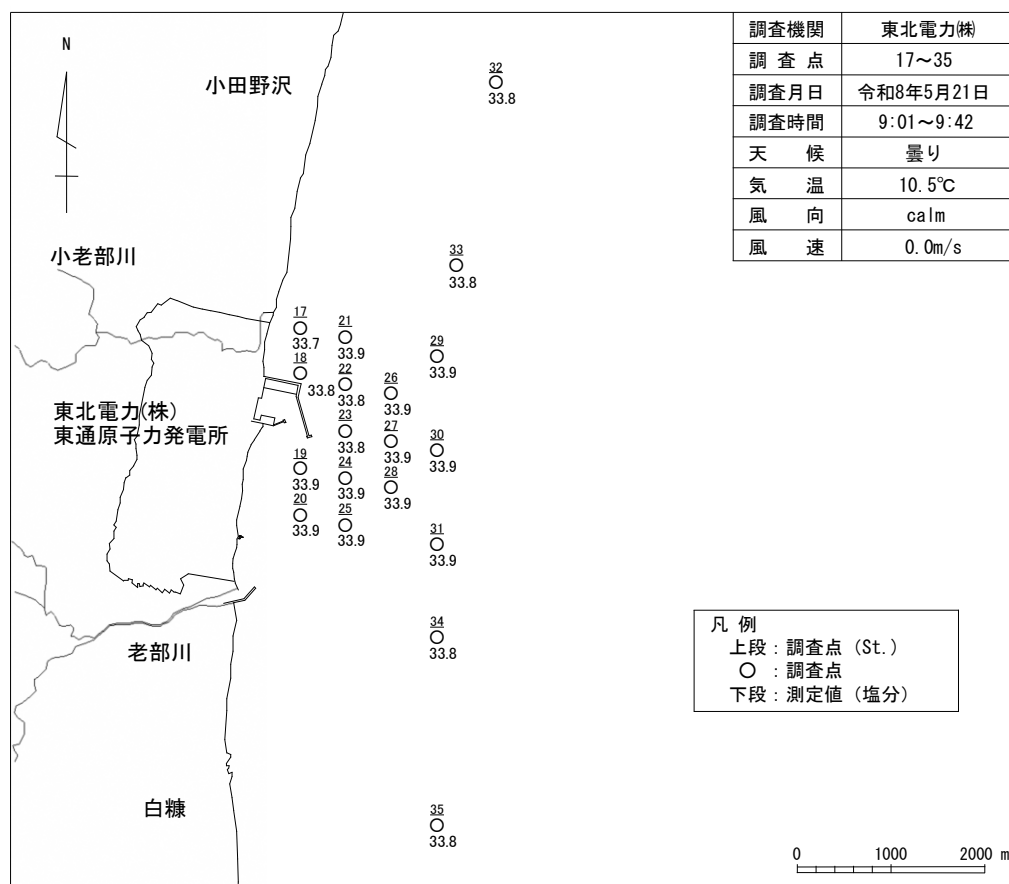
注2) 発電所稼働中の水温較差範囲は、平成17年度～平成19年度、平成21年度～平成22年度のものである。

b. 塩 分

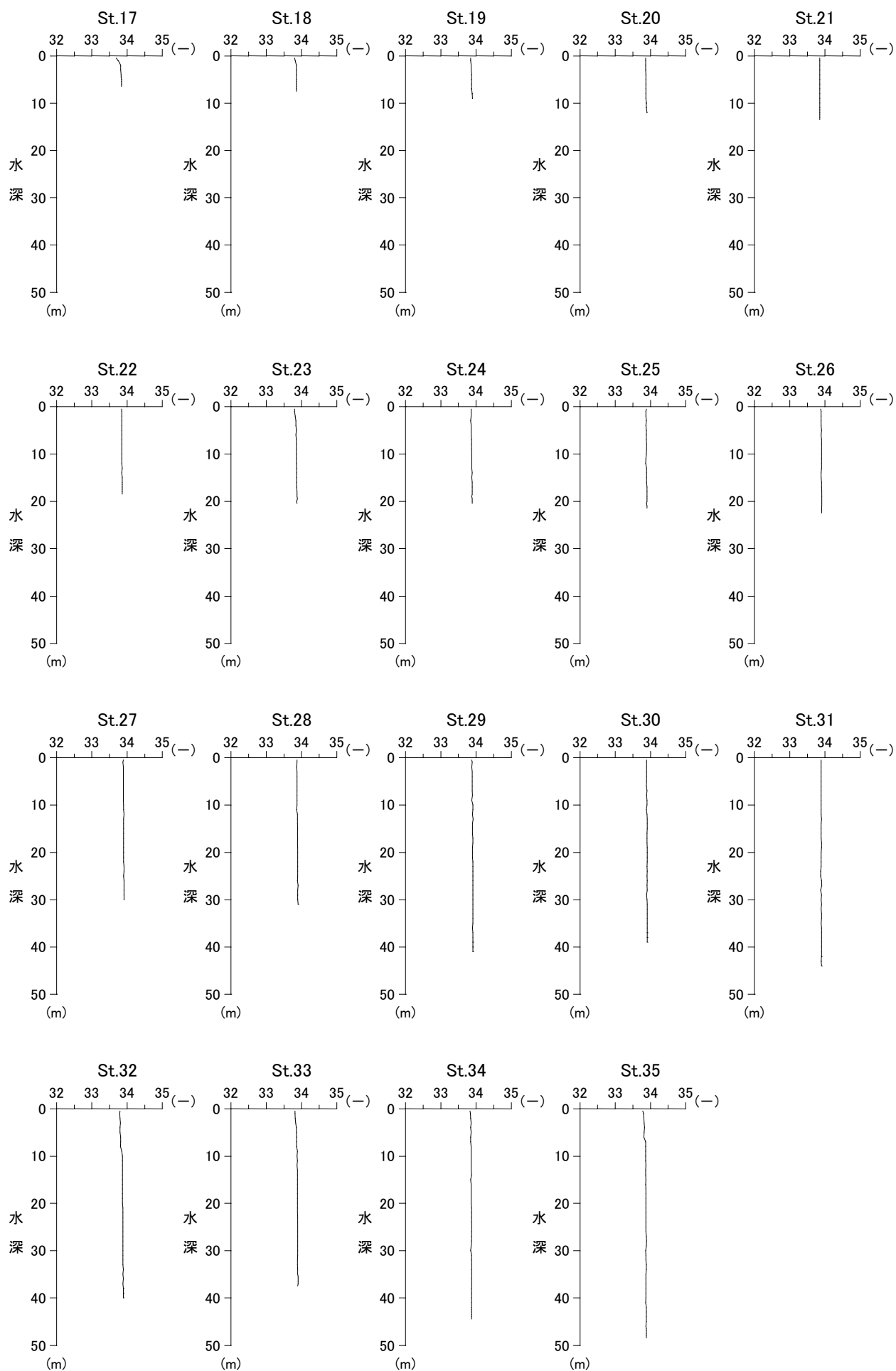
0.5m層における塩分水平分布を図－3.6 に示す。0.5m層における塩分は 33.7～33.9 の範囲であった。

また、塩分鉛直分布を図－3.7 に示す。全体の塩分は 33.7～33.9 の範囲であった。

塩分は、海域全体で一様であった。



図－3.6 塩分水平分布図（0.5m層）



図－3.7 塩分鉛直分布図

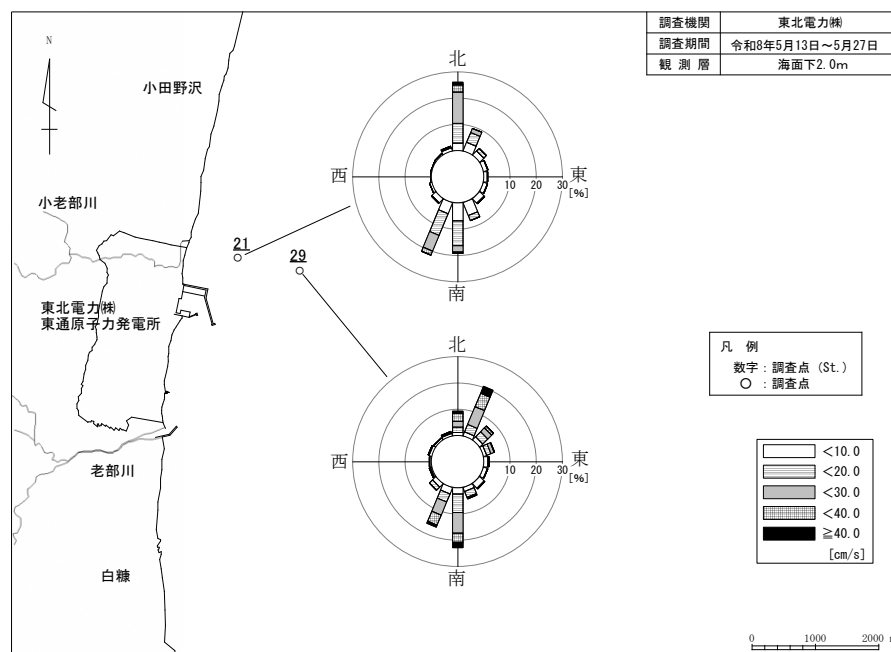
(3) 流 況

調査位置：St. 21、29（2 調査点、図－1.3 参照）

発電所稼働状況：停止中

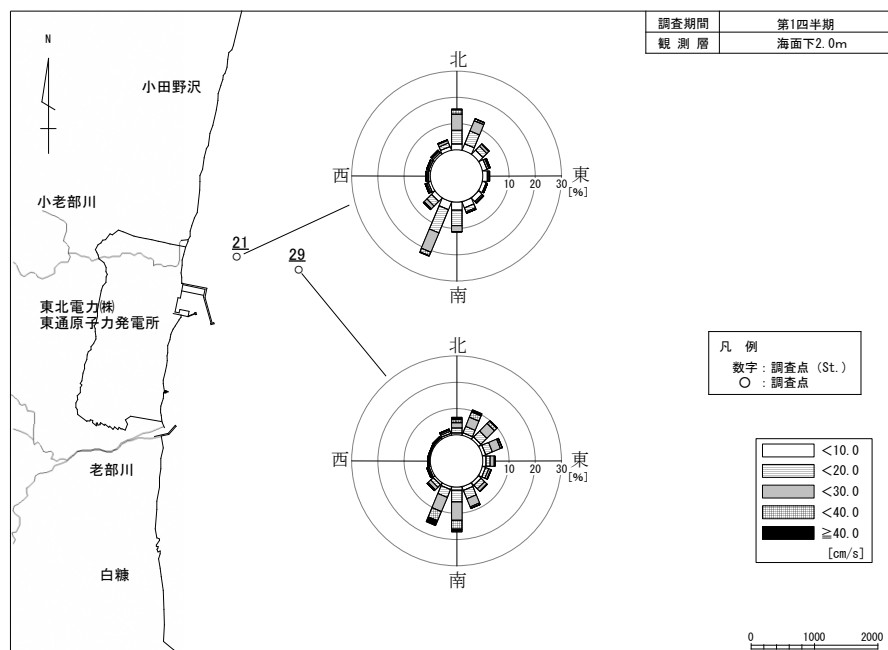
今期の流向別流速出現頻度を図－3.8 に、過去同期の流向別流速出現頻度を図－3.9 に示す。流向は、汀線にほぼ平行な流れで北～北北東及び南～南南西が卓越しており、流速は 40cm/s までが大部分を占めている。

過去同期と同様の傾向であった。



注 1) 流向は流れて行く方向を示し、風向とは逆を示す。

図－3.8 流向別流速出現頻度



注 1) 流向は流れて行く方向を示し、風向とは逆を示す。

注 2) 過去同期の流向別流速出現頻度は、平成 16 年度～令和 7 年度のものである。

図－3.9 過去同期の流向別流速出現頻度

(4) 水 質

調査位置：St. 18、23、27、30、32～35（8 調査点、図－1.4 参照）

発電所稼働状況：停止中

調査結果を表－3.6 に、過去同期の調査結果範囲を表－3.7 に示す。

表－3.6 水質調査結果

調査年月日：令和 8 年 5 月 21 日
調査機関：東北電力（株）

調査項目	単位	最大値	最小値	平均値
水素イオン濃度（pH）	—	8.0	8.0	8.0
化学的酸素要求量 （COD）	酸性法	mg/L	1.3	0.7
	アルカリ性法	mg/L	0.4	0.2
溶存酸素量（D0）	mg/L	9.5	8.9	9.3
塩 分	—	33.9	33.8	33.9
透明度	m	9.5	7.0	8.3
浮遊物質（SS）	mg/L	3	<1	2
水 温	℃	11.9	11.1	11.5
全窒素（T-N）	mg/L	0.13	0.08	0.10
全リン（T-P）	mg/L	0.015	0.012	0.013

注 1）結果欄中の「<」は定量下限未満の値を示す。

注 2）透明度以外の「平均値」の算出にあたって、定量下限未満の値は定量下限値として計算した。

表－3.7 過去同期の水質調査結果範囲

調査項目	単位	第 1 四半期
水素イオン濃度（pH）	—	7.9～8.2
化学的酸素要求量 （COD）	酸性法	mg/L
	アルカリ性法	mg/L
溶存酸素量（D0）	mg/L	8.5～10.9
塩 分	—	33.2～34.1
透明度	m	6.0～19.0
浮遊物質（SS）	mg/L	<1～4
水 温	℃	8.7～14.3
全窒素（T-N）	mg/L	0.07～0.45
全リン（T-P）	mg/L	0.008～0.035

注 1）結果欄中の「<」は定量下限未満の値を示す。

注 2）透明度の最小値には、着底した値を含めていない。

注 3）過去同期の調査結果範囲は、平成 16 年度～令和 7 年度の
ものである。

- a. 水素イオン濃度 (pH)
8.0 であり、過去同期の範囲内にあった。
- b. 化学的酸素要求量 (COD)
酸性法では 0.7mg/L~1.3mg/L、アルカリ性法では 0.2mg/L~0.4mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。
- c. 溶存酸素量 (DO)
8.9mg/L~9.5mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。
- d. 塩 分
33.8~33.9 の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。
- e. 透明度
7.0m~9.5m の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。
- f. 浮遊物質 (SS)
定量下限値未満~3mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。
- g. 水 温
11.1℃~11.9℃ の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。
- h. 全窒素 (T-N)
0.08mg/L~0.13mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。
- i. 全リン (T-P)
0.012mg/L~0.015mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

(5) 底 質

調査位置：St. a～c（3 調査点、図－1.5 参照）

発電所稼働状況：停止中

調査結果を表－3.8 に、過去同期の調査結果範囲を表－3.9 に示す。

表－3.8 底質調査結果

調査年月日：令和 8 年 5 月 27 日
調査機関：東北電力（株）

調査項目		単位	St. a	St. b	St. c
化学的酸素要求量（COD）		mg/g 乾泥	0.3	0.5	0.3
強熱減量（IL）		%	1.5	2.2	1.1
全硫化物（T-S）		mg/g 乾泥	<0.01	<0.01	<0.01
粒度組成	礫（2.000 mm 以上）	%	1.3	0.0	0.0
	粗砂（0.425～2.000 mm 未満）		3.0	1.8	0.1
	細砂（0.075～0.425 mm 未満）		92.9	95.5	97.4
	シルト（0.005～0.075 mm 未満）		0.1	0.9	0.0
	粘土・コロイド（0.005 mm 未満）		2.7	1.8	2.5

注 1）結果欄中の「<」は定量下限未満の値を示す。

注 2）強熱減量と粒度組成は、重量百分率で示した。

注 3）粒度組成については、細砂の割合を確認している。

表－3.9 過去同期の底質調査結果範囲

調査項目		単位	第 1 四半期		
			St. a	St. b	St. c
化学的酸素要求量（COD）		mg/g 乾泥	0.2～1.9	0.3～0.8	0.1～0.5
強熱減量（IL）		%	1.5～6.9	1.5～5.0	1.0～3.0
全硫化物（T-S）		mg/g 乾泥	<0.01	<0.01～0.01	<0.01
粒度組成	礫（2.000 mm 以上）	%	0.1～43.0	0.0～1.9	0.0～0.1
	粗砂（0.425～2.000 mm 未満）		2.0～93.9	0.2～11.3	0.0～0.4
	細砂（0.075～0.425 mm 未満）		0.2～97.3	83.3～98.6	92.4～99.4
	シルト（0.005～0.075 mm 未満）		0.0～1.9	0.0～1.5	0.1～3.7
	粘土・コロイド（0.005 mm 未満）		0.5～2.7	0.5～3.6	0.2～3.8

注 1）結果欄中の「<」は定量下限未満の値を示す。

注 2）強熱減量と粒度組成は、重量百分率で示した。

注 3）粒度組成については、細砂の割合を確認している。

注 4）過去同期の調査結果範囲は、平成 16 年度～令和 7 年度のものである。

a. 化学的酸素要求量 (COD)

St. a において 0.3mg/g 乾泥、St. b において 0.5mg/g 乾泥、St. c において 0.3mg/g 乾泥を示し、過去同期の範囲内にあった。

b. 強熱減量 (IL)

St. a において 1.5%、St. b において 2.2%、St. c において 1.1%を示し、過去同期の範囲内にあった。

c. 全硫化物 (T-S)

全調査点において定量下限値未満であり、過去同期の範囲内にあった。

d. 粒度組成

細砂が St. a において 92.9%、St. b において 95.5%、St. c において 97.4%の分布であり、過去同期の範囲内にあった。

(6) 卵・稚仔

調査位置：St. 23、30、32～35（6 調査点、図－1.6 参照）

発電所稼働状況：停止中

a. 卵

調査結果を表－3.10 に、過去同期における調査結果範囲を表－3.11 に、主な出現種の状況を表－3.12 に示す。

今期の出現種類数は4種類、出現した平均個数は63個/1,000m³、主な出現種は無脂球形不明卵 1 等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表－3.10 卵調査結果

調査年月日：令和8年5月21日
調査機関：東北電力（株）

出現種類数	4	
平均個数 (個/1,000m ³)	63	
主な出現種	無脂球形不明卵 1	90.3%
	単脂球形不明卵 1	8.0%

注1) 主な出現種は、総個数の5%以上出現かつ上位5種のものとした。

表－3.11 過去同期の卵調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	0～13
平均個数 (個/1,000m ³)	0～982

注1) 過去同期の調査結果範囲は、平成16年度～令和7年度のものである。

表－3.12 卵調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期						
	運転開始前	H17-R3	R4	R5	R6	R7	R8
	H16						
コノシロ		1 / 2					
カタクチイワシ		2 / 5	○	○	◎	○	
キュウリエソ		3 / 13	○	○		○	
スケトウダラ		1 / 1					
ネズツボ科	◎	2 / 3					
メイタガレイ属		1 / 9	○	○	○	○	
カレイ科	◎	4 / 6					

注1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現したことを示す。

注3) 平成17年度～令和3年度の17年間は、それぞれの出現状況を（主な出現種に計上された回数）/（調査で出現した回数）で示す。

注4) 不明卵は、種が特定できないため除外した。

b. 稚 仔

調査結果を表－3.13 に、過去同期における調査結果範囲を表－3.14 に、主な出現種の状況を表－3.15 に示す。

今期の出現種類数は5種類、出現した平均個体数は7個体/1,000m³、主な出現種はメバル属等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表－3.13 稚仔調査結果

調査年月日：令和8年5月21日
調査機関：東北電力（株）

出現種類数	5	
平均個体数 (個体/1,000m ³)	7	
主な出現種	メバル属	69.8%
	ウスメバル	17.4%
	ムラソイ	7.0%

注1) 主な出現種は、総個体数の5%以上出現かつ上位5種のものとした。

表－3.14 過去同期の稚仔調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	0～14
平均個体数 (個体/1,000m ³)	0～142

注1) 過去同期の調査結果範囲は、平成16年度～令和7年度のものである。

表－3.15 稚仔調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期						
年度	運転開始前	H17-R3	R4	R5	R6	R7	R8
	H16						
カタクチイワシ		1 / 4			◎	○	
スケトウダラ	◎	4 / 7				○	
イカナゴ	◎	2 / 8	○				
ハゼ科		2 / 4	○	◎	○	○	
ヘビギンポ科		1 / 1					
イソギンポ科		1 / 1					
ムスジガジ	○	1 / 1					
タウエガジ科		4 / 6	○		○	○	
ギンポ		1 / 1					
ウスメバル	◎	3 / 6	◎	◎	○	◎	◎
キツネメバル		3 / 8	◎	◎	◎	◎	○
ムラソイ		3 / 11	○	◎	◎	○	◎
メバル属	◎	11 / 11	◎	◎	◎	◎	◎
カジカ科		1 / 2	○				
クサウオ科		2 / 2	◎				
マコガレイ		2 / 4				○	
カレイ科		1 / 3	○				

- 注1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。
 注2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現したことを示す。
 注3) 平成17年度～令和3年度の17年間は、それぞれの出現状況を（主な出現種に計上された回数）／（調査で出現した回数）で示す。

(7) プランクトン

調査位置：St. 23、30、32～35（6 調査点、図－1.6 参照）

発電所稼働状況：停止中

a. 動物プランクトン

調査結果を表－3.16 に、過去同期における調査結果範囲を表－3.17 に、主な出現種の状況を表－3.18 に示す。

今期の出現種類数は 48 種類、出現した平均個体数は 10,402 個体/m³、主な出現種は nauplius of COPEPODA 等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表－3.16 動物プランクトン調査結果

調査年月日：令和 8 年 5 月 21 日

調査機関：東北電力（株）

出現種類数	48		
平均個体数 (個体/m ³)	10,402		
主な出現種	節足動物	Nauplius of COPEPODA	39.0%
		Copepodite of <i>Pseudocalanus</i>	17.5%
		Copepodite of <i>Oithona</i>	16.5%
		Copepodite of <i>Clausocalanus</i>	5.6%

注 1) 主な出現種は、総個体数の 5% 以上出現かつ上位 5 種のものとした。

表－3.17 過去同期の動物プランクトン調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	28～52
平均個体数 (個体/m ³)	2,216～40,681

注1) 過去同期の調査結果範囲は、平成16年度～令和7年度のものである。

表－3.18 動物プランクトン調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期						
年度	運転開始前	H17-R3	R4	R5	R6	R7	R8
	H16						
<i>Parafavella denticulata</i>	○	1 / 6	○	○	○	○	○
Copepodite of <i>Paracalanus</i>	◎	3 / 17	◎	◎	◎	◎	○
Copepodite of <i>Clausocalanus</i>	○	3 / 17	○	○	○	○	◎
Copepodite of <i>Pseudocalanus</i>	◎	16 / 17	◎	○	○	◎	◎
<i>Oithona similis</i>	○	4 / 17	○	○	○	○	○
Copepodite of <i>Oithona</i>	◎	16 / 17	◎	◎	○	◎	◎
Nauplius of COPEPODA	◎	17 / 17	◎	◎	◎	◎	◎
<i>Fritillaria borealis</i>		1 / 2	○				
<i>Fritillaria</i> sp.	○	1 / 14	○	○	○	○	○
<i>Oikopleura</i> sp.	○	2 / 14	◎	○	○	○	○

注1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現したことを示す。

注3) 平成17年度～令和3年度の17年間は、それぞれの出現状況を（主な出現種に計上された回数）／（調査で出現した回数）で示す。

b. 植物プランクトン

調査結果を表－3.19 に、過去同期における調査結果範囲を表－3.20 に、主な出現種の状況を表－3.21 に示す。

今期の出現種類数は 49 種類、出現した平均細胞数は 768,790 細胞/L、主な出現種は *Leptocylindrus danicus* 等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表－3.19 植物プランクトン調査結果

調査年月日：令和 8 年 5 月 21 日

調査機関：東北電力（株）

出現種類数	49		
平均細胞数 (細胞/L)	768,790		
主な出現種	黄色植物	<i>Leptocylindrus danicus</i>	35.4%
		<i>Chaetoceros sociale</i>	32.3%
		<i>Nitzschia</i> spp.	10.0%

注 1) 主な出現種は、総細胞数の 5% 以上出現かつ上位 5 種のものとした。

表－3.20 過去同期の植物プランクトン調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	25～76
平均細胞数 (細胞/L)	2,480～1,439,620

注1) 過去同期の調査結果範囲は、平成16年度～令和7年度のものである。

表－3.21 植物プランクトン調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期						
年度	運転開始前	H17-R3	R4	R5	R6	R7	R8
	H16						
CRYPTOPHYCEAE	◎	12 / 17	○	○	○	◎	○
<i>Prorocentrum minimum</i>		1 / 3					
GYMNODINIALES	○	1 / 17	○	○	○	○	○
PERIDINIALES	○	4 / 16	○	○	○	○	○
<i>Leptocylindrus danicus</i>	◎	2 / 9	○	◎	◎	◎	◎
<i>Leptocylindrus minimus</i>	○	0 / 4	○	◎	○	○	○
<i>Thalassiosira</i> sp.		3 / 16	○	○	○	○	○
THALASSIOSIRACEAE	○	2 / 12	○	○		○	○
<i>Rhizosolenia fragilissima</i>	◎	10 / 16	◎	◎	○	○	○
<i>Rhizosolenia phuketensis</i>		1 / 13	○	○	○	○	○
<i>Bacteriastrum varians</i>		3 / 14	○	○		○	○
<i>Chaetoceros compressum</i>	◎	0 / 13	○	○	○	○	○
<i>Chaetoceros decipiens</i>		1 / 12	○	○	○	○	○
<i>Chaetoceros sociale</i>	○	3 / 11	◎	○	○	○	◎
<i>Cerataulina pelagica</i>	○	5 / 13	○	○	○	◎	○
<i>Asterionella kariana</i>		1 / 4					○
<i>Thalassionema nitzschioides</i>	○	1 / 13	○	○	○	○	○
<i>Neodelphineis pelagica</i>		1 / 3			○	○	
<i>Nitzschia</i> spp.		4 / 14	○	◎	◎	○	◎
PRASINOPHYCEAE	◎	4 / 17	○	○	○	○	○

注1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現したことを示す。

注3) 平成17年度～令和3年度の17年間は、それぞれの出現状況を（主な出現種に計上された回数）／（調査で出現した回数）で示す。

注4) 微小鞭毛藻類は、種が特定できないため除外した。

(8) 海藻草類

調査位置：LineA～D（4 調査測線、図－1.7 参照）

発電所稼働状況：停止中

調査結果を表－3.22 に、過去同期の調査結果範囲を表－3.23 に、主な出現種の状況を表－3.24 に示す。

今期の出現種類数は 64 種類で、主な出現種はサビ亜科等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表－3.22 海藻草類調査結果

調査年月日：令和 8 年 5 月 15 日～6 月 11 日

調査機関：東北電力（株）

出現種類数	64	
主な出現種	紅藻植物	サビ亜科
	褐藻植物	アカモク ケウルシグサ ハバモドキ マコンブ

注 1) 主な出現種は、いずれかの調査測線で被度が 25% 以上のものとした。

表－3.23 過去同期の海藻草類調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	58～74

注1) 過去同期の調査結果範囲は、平成16年度～令和7年度のものである。

表－3.24 海藻草類調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期						
年度	運転開始前	H17-R3	R4	R5	R6	R7	R8
	H16						
スガモ	○	12 / 17	○	○	○	○	○
アオサ属	○	2 / 17	◎	○	○	○	○
フクリンアミジ	○	1 / 16	○	◎	○	○	○
ハバモドキ		0 / 13	○	○	○	○	◎
ウルシグサ	○	1 / 17	○	○	○	○	○
タバコグサ	○	3 / 16		○	○	○	○
ケウルシグサ	○	15 / 17	◎	◎	○	◎	◎
ワカメ	◎	11 / 17	◎	◎	◎	○	○
スジメ	◎	7 / 17	○	○	○	○	○
マコンブ	◎	17 / 17	◎	◎	◎	◎	◎
ウガノモク	◎	3 / 17	○	○	◎	○	○
フシスジモク	○	1 / 17	○	○	○	○	○
アカモク	○	6 / 17	○	○	○	◎	◎
ダルス	○	1 / 17	○	○	○	○	○
ヤハズシコロ	○	3 / 17	○	○	○	○	○
サビ亜科	◎	17 / 17	◎	◎	◎	◎	◎
ヨレクサ	○	1 / 14	○	○	○	○	○
オバクサ	○	1 / 17	○	○	○	○	○
カギノリ	○	1 / 17	○	◎	◎	○	○
アカバギンナンソウ		8 / 13	○	○	○	○	○
クロトサカモドキ	○	3 / 13					
ハリガネ	◎	8 / 17	○	○	○	○	○
ユカリ	○	0 / 17	○	○	◎	◎	○
サエダ	○	3 / 17	○	○			○
イギス科	◎	1 / 17	○	○	○	○	○
ハイウスバノリ属	○	9 / 17	○	○	○	○	○
ハブタエノリ	○	3 / 17	○	○	○	○	○
スズシロノリ	○	1 / 17	○	○	○	○	○

注1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現したことを示す。

注3) 平成17年度～令和3年度の17年間は、それぞれの出現状況を（主な出現種に計上された回数）／（調査で出現した回数）で示す。

(9) 底生生物（メガロベントス）

調査位置：LineA～D（4 調査測線、図－1.7 参照）

発電所稼働状況：停止中

調査結果を表－3.25 に、過去同期の調査結果範囲を表－3.26 に、主な出現種の状況を表－3.27 に示す。

今期の出現種類数は 9 種類、出現した平均個体数は 18 個体/m²、主な出現種はキンコ科等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表－3.25 底生生物（メガロベントス）調査結果

調査年月日：令和 8 年 5 月 15 日～6 月 11 日

調査機関：東北電力（株）

出現種類数	9		
平均個体数 (個体/m ²)	18		
主な出現種	棘皮動物	キンコ科	60.1%
		キタムラサキウニ	32.3%

注 1) 主な出現種は、総個体数の 5% 以上出現かつ上位 5 種のものとした。

表－3.26 過去同期の底生生物（メガロベントス）調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	5～15
平均個体数 (個体/m ²)	5～48

注1) 過去同期の調査結果範囲は、平成16年度～令和7年度のものである。

表－3.27 底生生物（メガロベントス）調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期						
年度	運転開始前	H17-R3	R4	R5	R6	R7	R8
	H16						
イトマキヒトデ	○	0 / 6	○	◎	○	○	○
キタムラサキウニ	○	14 / 17	◎	◎	◎	◎	◎
キンコ科	◎	17 / 17	◎	◎	◎	◎	◎
マボヤ	○	3 / 14	○	○	○	○	○
海鞘亜綱(単体ホヤ類)	○	1 / 11	○				○

注1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現したことを示す。

注3) 平成17年度～令和3年度の17年間は、それぞれの出現状況を（主な出現種に計上された回数）／（調査で出現した回数）で示す。

資 料 編

1. 青森県実施分

(1) 調査方法

(2) 調査データ

資料－1 水温・塩分

2. 東北電力(株)実施分

(1) 調査方法

(2) 分析方法

(3) 調査データ

資料－1 取放水温度

資料－2 水温・塩分

資料－3 流況

資料－4 水質

資料－5 底質

資料－6 卵・稚仔

資料－7 プラクトン

資料－8 海藻草類

資料－9 底生生物（メガロベントス）

(4) 運転状況・調査スケジュール

1. 青森県実施分

(1) 調査方法

調 査 項 目		調 査 目 的	調 査 方 法	調査頻度
海 洋 環 境	水温・塩分	温排水の影響による水温上昇域を確認する。	調査点に停船し、メモリー式の「水温・塩分計」を所定の深度まで沈め、水温と塩分を測定する。表層は採水し棒状温度計で測定する。また、採水した表層水は持ち帰り、塩分検定を行う。表層以深の水温・塩分の測定方法は、海洋観測指針（1999 年）4.3.1 による。塩分は実用塩分で表し、その単位は無名数とする。	年 4 回

* 実用塩分：実用塩分は、1 気圧、15℃における塩化カリウム標準溶液（1kg 中、32.4356 g の塩化カリウムを含んだ水溶液）との電気伝導度比によって定義され、無次元の値であるため数値だけで表示する。

(2) 調査データ

資料－1 水温・塩分

調査年月日： 令和8年6月1日

調査時間： 11:35～12:23

調査機関： 青森県

調査点	S t . 2	S t . 5	S t . 6	S t . 7	S t . 8
月日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日	6月1日
時刻	12:00	11:35	11:50	12:12	12:23
北緯	41° 11.0′	41° 12.0′	41° 11.0′	41° 10.0′	41° 09.0′
東経	141° 24.5′	141° 25.5′	141° 25.5′	141° 25.5′	141° 25.5′
天候	b	b	b	b	b
気温 (°C)	16.1	19.7	17.3	16.8	17.9
波浪	1	1	1	1	1
うねり	1	1	1	1	1
風向	N	NE	NE	N	N
風力	1	1	1	1	1
水深 (m)	24	46	47	53	59
透明度 (m)	15	11	12	12	13
水温 (°C)					
表層	13.8	14.6	14.4	14.9	13.9
10m	12.4	12.7	12.5	12.4	12.5
20m	12.4	12.4	12.1	12.1	12.2
30m		12.1	11.9	12.0	12.0
50m				11.8	11.8
塩分					
表層	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8
10m	33.8	33.8	33.7	33.8	33.8
20m	33.8	33.8	33.9	33.9	33.9
30m		33.9	33.9	33.9	33.9
50m				33.9	33.9

注1) 塩分は実用塩分で示しているため表示単位を示していない。

2. 東北電力(株)実施分

(1) 調査方法

調 査 項 目		調 査 目 的	調 査 方 法	調査頻度
海 洋 環 境	取放水温度	取放水温度差が 7℃以下であることを確認する。	常設の電気式水温計により、連続測定する。	連続
	水温・塩分	温排水の影響による水温上昇域を確認する。	調査点に停船し、メモリー式の「水温・塩分計」を所定の深度まで沈め、水温と塩分を測定する。塩分は実用塩分で表し、その単位は無名数とする。	年 4 回
	流 況 (流向・流速)	取放水に伴い、周辺海域の海水流動が変化していないことを確認する。	所定の位置に「流向・流速計」を係留し、15 昼夜にわたって流向と流速を連続測定する。	年 4 回
	水 質	取放水に伴い、水質が過年度と比較して変化していないことを確認する。	採水器を用いて所定の深度の採水を行い、試料を持ち帰り、各項目について分析する。また、透明度は「セッキー板」を用いて、水温は「水温・塩分計」を用いて測定する。	年 4 回
	底 質	取放水に伴い、底質が過年度と比較して変化していないことを確認する。	採泥器を用いて海底の採泥を行い、試料を持ち帰り、各項目について分析する。	年 4 回
海 生 生 物	卵・稚仔	温排水の影響により、発電所前面海域において出現種や出現量が過年度と比較して変化していないことを確認する。	稚魚ネットの水平曳きにより試料を採集し、ホルマリン固定する。試料は持ち帰り、出現種の査定を行う。	年 4 回
	プランクトン		動物プランクトンはプランクトンネットの鉛直曳きにより、植物プランクトンは採水器により試料を採集し、ホルマリン固定する。試料は持ち帰り、出現種の査定を行う。	年 4 回
	海藻草類、底生生物 (メガロベントス)		潜水士が海水中に潜って目視観察および写真撮影を行い、出現種類や分布状況について調査する。	年 4 回

* 実用塩分：実用塩分は、1 気圧、15℃における塩化カリウム標準溶液（1kg 中、32.4356 g の塩化カリウムを含んだ水溶液）との電気伝導度比によって定義され、無次元の値であるため数値だけで表示する。

* 透明度：透明度は海洋表層の平均的な海水の濁りの指標であり、白昼に透明度板（セッキー板ともいう）という直径 30cm の白色の平らな円盤を水平に海水中に降ろし、上から見てこれがちょうど見えなくなる限界の深さを m 単位で表す。透明度の目視確認が海底までできた場合（着底した場合）は、その水深の値は透明度に含めない。

(2) 分析方法

水質分析方法

分析項目		分析方法（出典）	表示単位
水素イオン濃度（pH）		環告 59 号 別表 2.2 （JIS K 0102-1 12）	—
化学的酸素 要 求 量 （COD）	酸性法	環告 59 号 別表 2.2 （JIS K 0102-1 17.2）	mg/L
	アルカリ性法	環告 59 号 別表 2.2 備考 1	mg/L
溶存酸素量（DO）		環告 59 号 別表 2.2 （JIS K 0102-1 21.2）	mg/L
塩 分		海洋観測指針（1999）5.3	—
透 明 度		海洋観測指針（1999）3.2	m
浮遊物質（SS）		環告 59 号 別表 2.1 付表 8	mg/L
水 温		JIS K 0102-1 6.3 （サーミスタ温度計）	℃
全窒素（T-N）		環告 59 号 別表 2.2 （JIS K 0102-2 17.5）	mg/L
全リン（T-P）		環告 59 号 別表 2.2 （JIS K 0102-2 18.4.6）	mg/L

底質分析方法

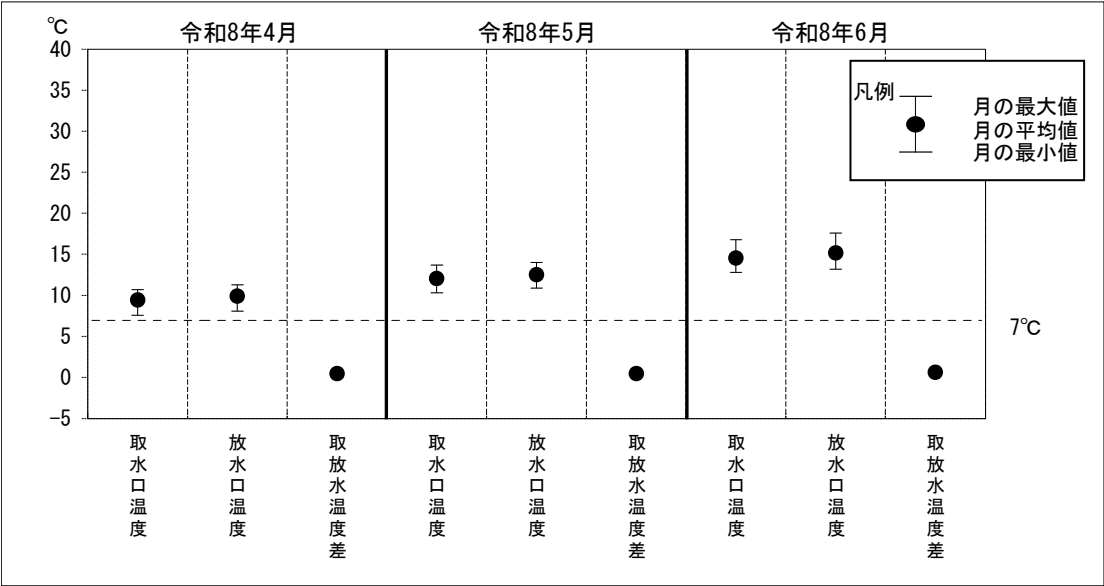
分析項目	分析方法（出典）	表示単位
化学的酸素要求量（COD）	底質調査方法 （平成 24 年環境省 II 4.7）	mg/g 乾泥
強熱減量（IL）	底質調査方法 （平成 24 年環境省 II 4.2）	%
全硫化物（T-S）	底質調査方法 （平成 24 年環境省 II 4.6）	mg/g 乾泥
粒度組成	JIS A 1204	%

(3) 調査データ

資料－1 取放水温度

(単位：℃)

年月 日	令和8年4月		令和8年5月		令和8年6月	
	取水口	放水口	取水口	放水口	取水口	放水口
1	7.6	8.1	10.6	11.0	14.0	14.6
2	7.8	8.2	10.5	10.9	14.4	15.0
3	7.9	8.2	10.3	10.9	14.5	15.3
4	8.4	8.7	10.6	11.0	14.4	15.3
5	8.9	9.2	10.6	10.9	13.8	14.3
6	8.9	9.3	11.2	11.4	12.9	13.5
7	8.9	9.3	11.4	11.9	12.8	13.2
8	8.9	9.3	11.1	11.8	13.0	13.3
9	9.0	9.4	11.2	11.7	13.3	13.6
10	8.9	9.4	11.3	11.6	13.6	14.0
11	8.8	9.3	11.4	11.9	13.9	14.4
12	8.6	9.0	11.4	12.0	14.3	14.8
13	8.5	8.9	11.9	12.3	14.6	15.2
14	8.6	9.1	12.3	12.8	14.8	15.4
15	9.0	9.4	12.5	13.0	15.1	15.9
16	9.4	9.8	12.9	13.4	15.0	16.0
17	9.7	10.1	13.0	13.6	15.1	16.0
18	9.9	10.3	13.3	13.7	14.9	15.8
19	10.1	10.4	13.2	13.6	14.9	15.8
20	10.5	10.9	12.6	13.2	14.8	15.7
21	10.6	11.1	12.2	12.7	14.5	15.2
22	10.5	11.0	12.2	12.7	14.0	14.6
23	10.5	11.2	12.3	12.7	14.0	14.4
24	10.5	11.1	12.2	12.6	14.3	14.8
25	10.6	11.1	12.3	12.8	14.9	15.3
26	10.7	11.3	12.6	13.1	15.6	15.8
27	10.7	11.2	12.9	13.3	15.9	16.2
28	10.5	11.1	13.2	13.6	16.1	16.7
29	10.2	10.9	13.5	13.9	16.3	17.2
30	10.5	10.9	13.4	13.7	16.8	17.6
31	—	—	13.7	14.0	—	—
平均値	9.5	9.9	12.1	12.5	14.6	15.2
最大値	10.7	11.3	13.7	14.0	16.8	17.6
最小値	7.6	8.1	10.3	10.9	12.8	13.2



資料一2 水温・塩分

調査年月日： 令和8年5月21日

調査機関：東北電力株式会社

項目	調査点	St. 17	St. 18	St. 19	St. 20	St. 21	St. 22	St. 23	St. 24	St. 25	St. 26	St. 27	St. 28	St. 29	St. 30	St. 31	St. 32	St. 33	St. 34	St. 35	
	時刻	9:30	9:42	9:24	9:30	9:23	9:11	9:02	9:10	9:18	9:20	9:25	9:01	9:13	9:04	9:01	9:23	9:08	9:30	9:02	
天候		曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	
気温 (°C)				10.5																	
風向				calm																	
風速 (m/s)				0.0																	
水深 (m)		6.5	7.5	9.0	12.0	13.5	18.5	20.5	20.5	21.5	22.5	30.0	31.0	41.0	39.0	44.0	40.0	37.5	44.5	48.5	
水温 (°C)																					
観測層 (m)	0.5	11.7	11.6	11.7	11.6	11.5	11.5	11.8	11.6	11.6	11.5	11.6	11.6	11.5	11.6	11.5	11.9	11.7	11.6	11.8	
	1	11.7	11.5	11.6	11.6	11.5	11.5	11.7	11.6	11.6	11.5	11.6	11.6	11.5	11.6	11.5	11.9	11.7	11.6	11.7	
	2	11.6	11.5	11.6	11.6	11.5	11.5	11.6	11.6	11.5	11.5	11.6	11.6	11.5	11.6	11.5	11.9	11.6	11.6	11.6	
	3	11.6	11.5	11.6	11.6	11.5	11.4	11.6	11.6	11.5	11.5	11.6	11.6	11.5	11.6	11.4	11.9	11.6	11.5	11.6	
	4	11.6	11.5	11.5	11.5	11.4	11.4	11.5	11.6	11.5	11.4	11.6	11.6	11.5	11.5	11.4	11.8	11.6	11.5	11.6	
	5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.4	11.4	11.5	11.6	11.5	11.4	11.5	11.6	11.4	11.5	11.4	11.7	11.6	11.5	11.4	
	6	11.5	11.5	11.4	11.5	11.4	11.4	11.5	11.6	11.5	11.4	11.5	11.6	11.5	11.5	11.4	11.7	11.6	11.5	11.4	
	7		11.5	11.4	11.5	11.4	11.4	11.5	11.5	11.4	11.4	11.5	11.6	11.5	11.4	11.4	11.6	11.6	11.5	11.3	
	8			11.3	11.5	11.4	11.4	11.5	11.5	11.4	11.4	11.5	11.5	11.4	11.4	11.4	11.6	11.6	11.4	11.2	
	9			11.3	11.4	11.4	11.4	11.5	11.5	11.4	11.3	11.4	11.5	11.4	11.4	11.4	11.4	11.6	11.4	11.2	
	10				11.4	11.4	11.4	11.4	11.5	11.4	11.3	11.4	11.6	11.3	11.4	11.4	11.3	11.5	11.4	11.2	
	15						11.3	11.3	11.3	11.3	11.3	11.3	11.4	11.2	11.3	11.3	11.2	11.3	11.4	11.2	
	20							11.2	11.2	11.2	11.1	11.3	11.3	11.1	11.1	11.2	11.1	11.3	11.3	11.1	
	海底上2m		11.5	11.5	11.4	11.4	11.4	11.3	11.3	11.2	11.2	11.1	11.1	10.9	11.0	10.9	10.9	11.0	11.0	10.9	10.9
	塩分																				
観測層 (m)	0.5	33.7	33.8	33.9	33.9	33.9	33.8	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.8	33.8	33.8	
	1	33.8	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.8	33.8	33.8	
	2	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.8	33.9	33.8	
	3	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.8	33.9	33.8	
	4	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.8	
	5	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.8	
	6	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.8	
	7		33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9	
	8			33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9	
	9			33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	
	10				33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	
	15						33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	
	20							33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	
	海底上2m		33.8	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9

資料-3 流況

調査年月日：令和8年5月13日～5月27日

調査位置：St. 21

調査機関：東北電力株式会社

(cm/s)	区分	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	合計
静穏	頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
～ 5.0	頻度	20	27	23	22	25	26	22	38	32	26	25	14	8	8	11	12	339
	(%)	0.93	1.25	1.06	1.02	1.16	1.20	1.02	1.76	1.48	1.20	1.16	0.65	0.37	0.37	0.51	0.56	15.69
5.0 ～ 10.0	頻度	42	49	22	11	2	5	25	73	114	68	18	5	0	0	2	15	451
	(%)	1.94	2.27	1.02	0.51	0.09	0.23	1.16	3.38	5.28	3.15	0.83	0.23	0.00	0.00	0.09	0.69	20.88
10.0 ～ 15.0	頻度	68	53	26	3	3	2	8	36	144	100	2	0	0	0	0	6	451
	(%)	3.15	2.45	1.20	0.14	0.14	0.09	0.37	1.67	6.67	4.63	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.28	20.88
15.0 ～ 20.0	頻度	96	35	4	0	0	0	0	9	61	94	3	0	0	0	0	2	304
	(%)	4.44	1.62	0.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.42	2.82	4.35	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	14.07
20.0 ～ 25.0	頻度	112	22	0	0	0	0	0	0	32	85	0	0	0	0	0	3	254
	(%)	5.19	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.48	3.94	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	11.76
25.0 ～ 30.0	頻度	146	13	0	0	0	0	0	0	19	54	0	0	0	0	0	2	234
	(%)	6.76	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.88	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	10.83
30.0 ～ 35.0	頻度	49	0	0	0	0	0	0	0	9	26	0	0	0	0	0	1	85
	(%)	2.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.42	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	3.94
35.0 ～ 40.0	頻度	9	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	18
	(%)	0.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.83
40.0 ～	頻度	21	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	24
	(%)	0.97	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.11
合計	頻度	563	199	75	36	30	33	55	156	411	464	49	19	8	8	13	41	2160
	(%)	26.06	9.21	3.47	1.67	1.39	1.53	2.55	7.22	19.03	21.48	2.27	0.88	0.37	0.37	0.60	1.90	100.00

調査位置：St. 29

(cm/s)	区分	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	合計
静穏	頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
～ 5.0	頻度	10	4	6	6	15	19	17	11	13	18	9	3	6	12	10	11	170
	(%)	0.46	0.19	0.28	0.28	0.69	0.88	0.79	0.51	0.60	0.83	0.42	0.14	0.28	0.56	0.46	0.51	7.87
5.0 ～ 10.0	頻度	15	29	27	19	16	12	32	21	36	35	27	7	7	10	7	9	309
	(%)	0.69	1.34	1.25	0.88	0.74	0.56	1.48	0.97	1.67	1.62	1.25	0.32	0.32	0.46	0.32	0.42	14.31
10.0 ～ 15.0	頻度	23	26	22	24	4	2	3	34	61	36	29	8	3	9	1	7	292
	(%)	1.06	1.20	1.02	1.11	0.19	0.09	0.14	1.57	2.82	1.67	1.34	0.37	0.14	0.42	0.05	0.32	13.52
15.0 ～ 20.0	頻度	22	41	38	14	5	1	4	18	91	37	8	3	1	0	1	2	286
	(%)	1.02	1.90	1.76	0.65	0.23	0.05	0.19	0.83	4.21	1.71	0.37	0.14	0.05	0.00	0.05	0.09	13.24
20.0 ～ 25.0	頻度	22	66	22	19	0	0	1	6	101	46	0	0	0	0	0	4	287
	(%)	1.02	3.06	1.02	0.88	0.00	0.00	0.05	0.28	4.68	2.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.19	13.29
25.0 ～ 30.0	頻度	25	92	21	9	1	0	0	3	69	69	0	0	0	0	0	2	291
	(%)	1.16	4.26	0.97	0.42	0.05	0.00	0.00	0.14	3.19	3.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	13.47
30.0 ～ 35.0	頻度	50	74	19	3	0	0	0	4	34	54	0	0	0	0	0	2	240
	(%)	2.31	3.43	0.88	0.14	0.00	0.00	0.00	0.19	1.57	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	11.11
35.0 ～ 40.0	頻度	15	46	3	1	0	0	0	0	41	36	0	0	0	0	0	0	142
	(%)	0.69	2.13	0.14	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	1.90	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.57
40.0 ～	頻度	19	61	1	0	0	0	0	0	45	17	0	0	0	0	0	0	143
	(%)	0.88	2.82	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.08	0.79	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.62
合計	頻度	201	439	159	95	41	34	57	97	491	348	73	21	17	31	19	37	2160
	(%)	9.31	20.32	7.36	4.40	1.90	1.57	2.64	4.49	22.73	16.11	3.38	0.97	0.79	1.44	0.88	1.71	100.00

注1) 頻度の(%)は、小数第3位を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある。

資料-4 水 質

調査年月日： 令和8年5月21日
調査方法： バンドーン型採水器による採水
調査機関： 東北電力株式会社

		調査点	St. 18	St. 23	St. 27	St. 30	St. 32	St. 33	St. 34	St. 35	最大値	最小値	平均値		
調査項目		採水層													
水素イオン濃度 (pH) [－]		0.5m	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0					
		5.0m	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0				8.0	
		20.0m	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0				8.0	
		平均	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0				8.0	8.0
化学的 酸 素 要求量 (COD) [mg/L]	酸性法	0.5m	1.3	1.0	0.9	1.1	1.1	0.9	1.0	1.0					
		5.0m	1.1	1.1	1.1	0.9	1.0	0.7	0.9	1.0				1.0	
		20.0m	0.9	1.0	1.2	1.0	0.9	1.0	1.2	1.1				1.1	
		平均	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0				1.3	0.7
	アルカリ性法	0.5m	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2				
		5.0m	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2				0.2
		20.0m	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2				0.2
		平均	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2				0.4
溶存酸素量 (DO) [mg/L]		0.5m	9.2	9.4	9.5	9.5	9.3	9.5	9.5	9.4					
		5.0m	9.3	9.3	9.5	9.5	9.5	9.3	9.4	9.2				9.2	
		20.0m	9.2	8.9	9.1	9.1	9.2	9.1	9.0	8.9				8.9	
		平均	9.2	9.2	9.4	9.4	9.3	9.3	9.3	9.2				9.5	8.9
塩分 [－]		0.5m	33.8	33.9	33.9	33.9	33.8	33.8	33.9	33.9					
		5.0m	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9				33.9	
		20.0m	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9	33.9				33.9	
		平均	33.9	33.9	33.9	33.9	33.8	33.9	33.9	33.9				33.9	33.8
透明度 [m]			7.0	8.5	7.5	8.0	9.5	8.0	9.1	8.9					
			9.5	7.0	8.3										
浮遊物質 量 (SS) [mg/L]		0.5m	2	1	3	2	2	1	2	<1					
		5.0m	1	<1	2	2	2	1	1	<1				<1	
		20.0m	1	2	2	1	2	2	2	2				2	
		平均	1	1	2	2	2	1	2	1				3	<1
水温 [℃]		0.5m	11.6	11.8	11.6	11.6	11.9	11.7	11.6	11.8					
		5.0m	11.5	11.5	11.5	11.5	11.7	11.6	11.5	11.4				11.4	
		20.0m	11.5	11.2	11.3	11.1	11.1	11.3	11.3	11.1				11.1	
		平均	11.5	11.5	11.5	11.4	11.6	11.5	11.5	11.4				11.9	11.1
全窒素 (T-N) [mg/L]		0.5m	0.13	0.09	0.08	0.08	0.09	0.08	0.09	0.08					
		5.0m	0.09	0.12	0.08	0.08	0.12	0.11	0.11	0.09				0.09	
		20.0m	0.11	0.11	0.11	0.09	0.12	0.13	0.13	0.11				0.11	
		平均	0.11	0.11	0.09	0.08	0.11	0.11	0.11	0.09				0.13	0.08
全リン (T-P) [mg/L]		0.5m	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.012	0.013	0.013					
		5.0m	0.014	0.013	0.013	0.013	0.012	0.012	0.013	0.014				0.014	
		20.0m	0.014	0.015	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.015				0.015	
		平均	0.014	0.014	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.014				0.015	0.012

注1) 結果欄中の「<」は定量下限未満の値を示す。

注2) 透明度以外の「平均値」の算出にあたって、定量下限未満の値は定量下限値として計算した。

注3) St. 18(水深 7.5m)、St. 23(水深 20.5m)は水深21.0m未満のため、海底上1.0m層で採水した。

資料-5 底質

調査年月日： 令和8年5月27日
 調査方法： スミス・マッキングタイ型採泥器による採泥
 調査機関： 東北電力株式会社

調査項目		調査点	St. a	St. b	St. c	最大値	最小値	平均値
化学的酸素要求量 (COD) [mg/g乾泥]			0.3	0.5	0.3	0.5	0.3	0.4
	強熱減量 (1L) [%]		1.5	2.2	1.1	2.2	1.1	1.6
	全硫化物 (T-S) [mg/g乾泥]		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
粒度組成 [%]	礫 (2.000mm以上)		1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.4
	粗砂 (0.425~2.000mm未満)		3.0	1.8	0.1	3.0	0.1	1.6
	細砂 (0.075~0.425mm未満)		92.9	95.5	97.4	97.4	92.9	95.3
	シルト (0.005~0.075mm未満)		0.1	0.9	0.0	0.9	0.0	0.3
	粘土・コロイド (0.005mm未満)		2.7	1.8	2.5	2.7	1.8	2.3

注1) 結果欄中の「<」は定量下限未満の値を示す。
 注2) 平均値の算出にあたって、定量下限未満の値は定量下限値として計算し、全ての値が定量下限値未満の場合は、平均値に不等号を付けて表示した。
 注3) 強熱減量と粒度組成は、重量百分率で示した。

資料－6.1 卵

調査年月日： 令和8年5月21日
 調査方法： 丸稚ネットによる水平曳き（600m）
 調査機関： 東北電力株式会社

調査点 採集層		St. 23		St. 30		St. 32		St. 33		St. 34		St. 35		計			平均個数					
		0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	全層	0.5m	5.0m	全層			
1	單脂球形不明卵	23	8	6	2			2	10	1	1	6	2	38	23	61	6	(7.8)	4	(8.6)	5	(8.0)
2	單脂球形不明卵	2	2											2	2	4	0	(0.4)	0	(0.7)	0	(0.5)
3	無脂球形不明卵	77	25	54	36		8	199	121	36	12	78	39	444	241	685	74	(90.6)	40	(89.6)	57	(90.3)
4	無脂球形不明卵	6	3											6	3	9	1	(1.2)	1	(1.1)	1	(1.2)
合 計		108	38	60	38		8	201	131	37	13	84	41	490	269	759	82	(100.0)	45	(100.0)	63	(100.0)
出現種類数		4	4	2	2		1	2	2	2	2	2	2	4	4	4						

注1) 平均個数欄の（ ）内数値は総数に対する組成率（％）を、個数の0は0.5個/1,000m³未満であることを示す。
 注2) 平均個数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

資料－6.2 稚仔

調査年月日： 令和8年5月21日
 調査方法： 丸稚ネットによる水平曳き (600m)
 調査機関： 東北電力株式会社

個体数密度 (個体/1,000m³)

種名	調査点						計						平均個体数		
	採集層						全層						全層		
	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	全層
1 ウスメバル							3	12					1	(14.3)	2 (18.5)
2 キツネメバル															1 (4.6)
3 ムラソイ	4	2							4	2			1	(19.0)	0 (3.1)
4 メバル属	2	5	1	1		4	10				14	46	2	(66.7)	8 (70.8)
5 カサゴ		2													0 (3.1)
合 計	6	9	1	1		4	10				21	65	4	(100.0)	11 (100.0)
出現種類数	2	3	1	1		3	1	1			3	5			5

注1) 平均個体数欄の () 内数値は総数に対する組成率 (%) を、個体数の0は0.5個体/1,000m³未満であることを示す。
 注2) 平均個体数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

資料－7.1 動物プランクトン(1/2)

調査年月日： 令和8年5月21日
調査方法： 北原式閉鎖定量ネットによる鉛直曳き
調査機関： 東北電力株式会社

個体数密度 (個体・m ³)		調査点		門		種名		St. 23		St. 30		St. 32		St. 33		St. 34		St. 35		計		平均個体数		全層	
		採集層		0～5m		5～20m		0～5m		5～20m		0～5m		5～20m		0～5m		5～20m		0～5m		5～20m		0～5m	
1	原生動物																								
2																									
3																									
4	袋形動物																								
5																									
6	環形動物																								
7	軟体動物																								
8																									
9	節足動物																								
10																									
11																									
12																									
13																									
14																									
15																									
16																									
17																									
18																									
19																									
20																									
21																									
22																									
23																									
24																									
25																									
26																									
27																									
28																									
29																									
30																									
31																									
32																									
33																									
34																									
35																									
36																									
37																									
38																									
39																									
40																									

注1) 平均個体数網の () 内数値は総数に対する組成率 (%) を示す。

注2) 平均個体数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入している。

資料－7.1 動物プランクトン(2/2)

調査年月日： 令和8年5月21日
 調査方法： 北原式閉鎖定量ネットによる鉛直曳き
 調査機関： 東北電力株式会社

個体数密度 (個体/m ³)																									調査機関 : 東北電力株式会社									
門		種名	調査点		St. 23		St. 30		St. 32		St. 33		St. 34		St. 35		計			平均個体数														
			採集層		0~5m	5~20m	0~5m	5~20m	0~5m	5~20m	0~5m	5~20m	0~5m	5~20m	0~5m	5~20m	0~5m	5~20m	全層	0~5m	5~20m	全層												
41	節足動物	Furcilla of EUPHAUSIACEA										20						20	3	(0.0)			2	(0.0)										
42	毛顎動物	Juvenile of Sagitta													67			67	67		11	(0.1)	6	(0.1)										
43	棘皮動物	Ophioplateus of OPHIUROIDEA				7												7	7		1	(0.0)	1	(0.0)										
44		Bipinnaria of ASTEROIDEA				7					13							20	20		3	(0.0)	2	(0.0)										
45	原索動物	Fritillaria sp.					113			15		80	450	133		67		878	287	1,165	146	(1.8)	48	(0.9)										
46		Okopjeura dioica										20				200		220	220		37	(0.4)	18	(0.2)										
47		Okopjeura longicauda			75								40	75	133	200	267	523	447	797	58	(0.7)	75	(0.6)										
48		Okopjeura sp.		150	43	113	42	15	27	15	27	20	80	225	267			523	459	982	87	(1.0)	77	(0.6)										
合計			8,625	4,308	15	20	15	18	18	22	15	20	12	20	15	22	15	22	30	42	48													
出現種数			15	20	15	18	18	15	22	18	22	15	20	12	20	15	22	30	42	48														

注1) 平均個体数密度の()内数値は総数に対する組成率(%)を示す。

注2) 平均個体数密度は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

資料－7.2 植物プランクトン(1/2)

調査年月日：令和8年5月21日

調査方法：パンドーン型採水器による採水

調査機関：東北電力株式会社

細胞数密度(細胞/L)		調査点		St. 23		St. 30		St. 32		St. 33		St. 34		St. 35		計		平均細胞数	
		種名		0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m
門		CRYPTOPHYCEAE																	
1	クリプト植物	<i>Prorocentrum balticum</i>		960	960	3,360	2,400	1,680	2,280	8,640	4,320	2,880	2,400	4,320	960	21,840	13,320	35,160	2,220
2	渦鞭毛植物	<i>Prorocentrum micans</i>		480	960	1,440	960	3,000	3,360	3,840	2,880	960	1,440	1,920	1,440	11,640	11,040	22,680	1,940
3		<i>Dinophysis fortii</i>		180	240	300	240	720	120	240		600	240	840	120	2,880	960	3,840	480
4		<i>Gyrodinium</i> sp.			60			360	60	60		60	300	120	720	300	1,020	120	160
5		GYMNODINIALES			120	360	240	240	120	60	120	60	240	480	60	1,200	900	2,100	200
6		<i>Gonyaulax</i> sp.		1,440	4,800	6,240	3,840	2,040	2,640	7,680	4,800	2,400	2,400	5,280	7,680	25,080	26,160	51,240	4,180
7		<i>Prorocentrum</i> sp.			480	480	480		120		480			960		960	600	1,560	160
8		<i>Ceratium hirundinella</i>										960	480	2,400	480	5,640	2,040	7,680	940
9		<i>Ceratium hirundinella</i>		60							120					120	120	240	20
10		<i>Ceratium hirundinella</i>		60	120	120	60	180	60	300	60	180	60	300	60	1,140	420	1,560	190
11		PERIDINIALES		960	1,920	960	3,360	360	1,680	1,920	5,760	1,440	2,400	3,360	3,840	9,000	18,960	27,960	1,500
12	ハプト植物	HAUTOPHYCEAE			480	480	960	120	120	1,440		960	480	1,440	3,000	3,480	6,480	500	580
13	黄色植物	<i>Skeletonema costatum</i>		8,160	5,280	11,520	3,840	360	960	7,680	4,800	6,720	1,440	960	2,880	35,400	19,200	54,600	5,900
14		<i>Leptocylindrus danicus</i>		293,760	329,280	281,280	304,320	10,200	23,640	170,880	457,920	391,680	424,320	320,640	261,120	1,468,440	1,800,600	3,269,040	244,740
15		<i>Leptocylindrus minimus</i>		12,000	22,080	23,040	10,560	2,400	4,560	23,520	24,480	35,520	17,280	9,600	16,800	106,080	95,760	201,840	17,680
16		<i>Guinardia flaccida</i>		300	120	240	240			300	60	180	120	360	60	1,380	600	1,980	230
17		<i>Corethron hystrix</i>		60	60		180		120	120	240	120	180	120	60	420	840	1,260	70
18		<i>Thalassiosira</i> sp.		2,400	1,440	960	960	120	480	960	2,400	960	1,440	1,440	6,840	8,160	15,000	1,140	1,360
19		THALASSIOSIRACEAE		1,920		960		240	600					480		3,600	600	4,200	600
20		<i>Rhizosolenia alata</i>							60		120				60		240		40
21		<i>Rhizosolenia delicatula</i>		5,280	5,760	6,720	7,680	240	960	1,920	4,800	3,360	7,680	2,880	2,400	20,400	29,280	49,680	3,400
22		<i>Rhizosolenia fragilisissima</i>		37,920	47,040	49,920	48,480	4,560	5,040	34,560	63,840	38,880	38,400	43,200	23,520	209,040	226,320	435,360	34,840
23		<i>Rhizosolenia hebetata</i> f. <i>semispina</i>		240	60	240	120	60	60	60	60	60	120	240	120	840	540	1,380	140
24		<i>Rhizosolenia phuketensis</i>		12,480	8,160	8,640	10,080	1,440	1,920	12,960	11,520	5,760	19,680	6,720	3,840	48,000	55,200	103,200	8,000
25		<i>Rhizosolenia setigera</i>										60	60			60	60	120	10
26		<i>Bacteriasterium varians</i>		24,000	9,600	13,440	22,080	1,200	3,360	15,360	29,760	8,640	20,160	50,880	15,840	113,520	100,800	214,320	18,920
27		<i>Chaetoceros affine</i>									7,680		1,920	1,920	2,880	1,920	12,480	14,400	320
28		<i>Chaetoceros compressum</i>		4,800	22,080	12,480	9,600		600	11,520	21,600	11,520	23,040	33,600	13,440	73,920	90,360	164,280	12,320
29		<i>Chaetoceros danicum</i>						120	240	480		960	480	480	1,080	1,680	1,680	2,760	180
30		<i>Chaetoceros decipiens</i>		6,720	8,640	11,520	5,760	480	240	11,520	12,480	3,840	4,800	5,760	3,720	37,920	37,680	75,600	6,320
31		<i>Chaetoceros radicans</i>		7,680	9,600	13,440	14,400	960	5,520	35,520	30,240	17,280	5,760	11,520	5,760	86,400	71,280	157,680	14,400
32		<i>Chaetoceros sociale</i>		176,640	236,160	309,120	277,440	1,200	5,280	215,040	354,240	273,600	267,840	546,240	317,760	1,521,840	1,458,720	2,980,560	253,640
33		<i>Chaetoceros</i> sp.		2,880	3,840	4,800	1,920	240		1,920	4,800	5,760	10,560	1,920	960	17,520	22,080	39,600	2,920
34		<i>Ceratolus hauckii</i>		9,120	13,920	6,720	4,800	600	1,200	5,760	6,720	8,640	8,640	9,600	7,680	40,440	42,960	83,400	6,740
35		<i>Hemiaulus hauckii</i>		1,920	2,400	480	2,400	360	120	3,360	1,920	1,920	3,840	960	1,920	5,640	14,040	19,680	940
36		<i>Eucampia zodiacus</i>		480		2,520	1,200				600	840	240	1,560		5,400	2,040	7,440	900
37		<i>Asterionella glacialis</i>				4,800	1,920		240	2,400	1,920	960	960	4,800	2,400	12,960	7,440	20,400	2,160
38		<i>Asterionella kariana</i>		1,920							3,840					1,920	3,840	5,760	320
39		<i>Thalassiosira nitzschoides</i>		2,880	1,920	7,680	3,840	480	1,200	1,920	2,880		1,920	2,880		15,840	11,760	27,600	2,640
40		<i>Thalassiothrix frauenfeldii</i>		960	960	960					960	960	960	960		2,880	3,840	6,720	480

注1) 平均細胞数(細胞/L)は総数に対する組成率(%)を示す。

注2) 平均細胞数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入している。

資料－7.2 植物プランクトン(2/2)

調査年月日：令和8年5月21日
調査方法：ハンダーン型採水器による採水
調査機関：東北電力株式会社

細胞数密度（細胞/L）

	門	種名	調査点		St. 23		St. 30		St. 32		St. 33		St. 34		St. 35		計			平均細胞数		
			採集層		0.5m		0.5m		0.5m		0.5m		0.5m		0.5m		5.0m			5.0m		
			0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	0.5m	5.0m	5.0m	5.0m	5.0m	0.5m	5.0m	全層
41	黄色植物	<i>Limnophora</i> sp.	960	960			960	960				480					1,440	1,440	3,360	320	240	280
42		<i>Pleurosigma</i> sp.		180		60	60				60	120			60	120	300	480	780	50	80	65
43		NAVICULACEAE	480				960						960	480		960	1,440	2,400	3,840	240	400	320
44		<i>Nitzschia pungens</i>	4,800	8,160			9,600	7,680					1,920	4,800	12,480	4,800	31,680	27,840	59,520	5,280	4,640	4,960
45		<i>Nitzschia</i> spp.	62,400	59,040	44,160	71,040	44,160	71,040	3,360	8,880	44,640	168,960	103,680	145,920	142,080	69,120	400,320	522,960	923,280	66,720	87,160	76,940
46	ミドリムシ植物	<i>Cylindrotheca closterium</i>	8,160	10,080	6,720	5,760	6,720	5,760	480	600	4,320	8,160	8,160	7,680	12,000	5,280	39,840	37,560	77,400	6,640	6,260	6,450
47		EUGLENOPHYCEAE	480	480	480	960	480	960	360	240	2,880	480	960	480	1,440	480	6,120	3,120	9,240	1,020	520	770
48	緑藻植物	PRASINOPHYCEAE	1,440	960	480	2,400	480	2,400	2,640	2,400	4,320	480	2,400	1,920	960	960	12,240	9,120	21,360	2,040	1,520	1,780
49	不明	微小鞭毛藻類	1,440			960			480	360	960	2,400			480		3,840	3,240	7,080	640	540	590
合 計			698,820	818,400	848,640	833,220	41,640	80,040	41,640	80,040	640,080	1,252,380	945,420	1,034,280	786,540	4,420,620	4,804,860	9,225,480	736,770	800,810	(100.0)	768,790
出現種数			38	37	37	37	33	38	33	38	37	40	38	41	40	41	48	49	49			

注1) 平均細胞数種の（ ）内数値は総数に対する組成率（％）を示す。
注2) 平均細胞数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

資料-8.1 海藻草類
(L-A-①) (1)

調査年月日：令和8年6月1日
調査方法：ベルトラント法
調査機関：東北電力株式会社

[illegible]

注1)「楕盤」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ の円形枠 (1m^2) の油底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「十」は海藻草類の密度が9%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

資料-8.1 海藻草類
(L-A-2) (1)

調査年月日：令和8年6月1日
調査方法：ベルトランセクト法
調査機関：東北電力株式会社

[illegible]

注1) 「格底」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形枠 (m^2) の底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「 m^2 」は海藻草類の格底が9%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体格底に含めない。

(L-A-①) (2)

[illegible]

注1) 「坡度」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形枠 (1m^2) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含まていない。

(L-A-2) (2)

单位：%

[illegible]

(注1)「被度」とは $1m \times 1m$ 方形枠 ($1m^2$) の海底面に対して、その枠中で海藻類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-A-①) (3)

単位：%

分類群	出現種	距離 (m) ／ 全体被度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠 (1m²) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に言及していない。

(L-A-2) (3)

[illegible]

(L-A-2) (4)

单位：%

[illegible]

注1) 「植度」とは $\text{m} \times \text{m}$ 方格形(1 m^2)の海底面に対して、その中で海藻類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻類の密度が5%未満であることを示す。
注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めない。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

資料-8.1 海藻草類
(L-B) (1)

調査年月日： 令和8年6月11日
調査方法： ペルトトランセクト法
調査機関： 東北電力株式会社

[illegible]

注1)「被度」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形枠 (1m^2) の海底面に対して、その枠中で海藻群類により覆われている面積を百分率で表したものをいう。

(L-B) (2)

[illegible]

(注1)「極度」とは $\text{m} \times \text{m}$ の海底面に対して、その中で海藻類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻類の被度が5%未満であることを示す。

(注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めない。

$$(L-B) \quad (3)$$
[illegible]

(注1) 「極度」とは $\text{m} \times \text{m}$ の海底面に対して、その中で海藻類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻類の被度が5%未満であることを示す。

(注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含まれない。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

$$(L-B) \quad (4)$$
[illegible]

「**被覆**」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形形(1²)の海底面に対して、その枠中に海草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「**+**」は海草類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含まていない。

資料－8.1 海藻草類
(L-C-①) (1)

調査年月日： 令和8年5月16日
調査方法： ペルトランセクト法
調査機関： 東北電力株式会社

単位：%		出現種 / 全体被度		0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200	205	210	215	220	225	230	235	240	245																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
分類群	距離 (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1 紅藻植物	アマノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	カギノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	マクサ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠 (1m²) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。
注2) サビ垂科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

資料-8.1 海藻草類
(L-C-2) (1)

調査年月日：令和8年5月16日
調査方法：ベルトトラセンクト法
調査機関：東北電力株式会社

[illegible]

注1) 「樹皮」とは1m×1m方形状の海底面に対して、その中で海藻類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「十」は海藻類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めない。

(L-C-1) (2)

[illegible]

主1)「坡度」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形枠 (1m^2) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

单位: %

注1)「植度」とは $\text{m} \times \text{m}$ 方形枠 (m^2) の海底面に対して、その枠中で海草群類により覆われている面積を百分率で表したものをい、「+」は海草群類の植度が5%未満であることを示す。

单位：%

(注1)「被覆」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形枠 (1m^2) の海底面に対して、ネ

注1) 「被度」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形枠 (1m^2) の海底面に対して、その被覆面積の割合をいう。
注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

單位：%

(注1)「被度」とは $1\text{m} \times 1\text{m}$ 方形枠 (1m^2) の海底面に対して、

資料—8.1 海藻草類
(L-D) (1)

調査年月日：令和8年5月15日
調査方法：ベルトトラクション法
調査機関：東北電力株式会社

[illegible]

(L-D) (2)

[illegible]

「+」は海藻類の密度が5%未満であることを示す。

(L-D) (3)

[illegible]

(L-D) (4)

单位：%

[illegible]

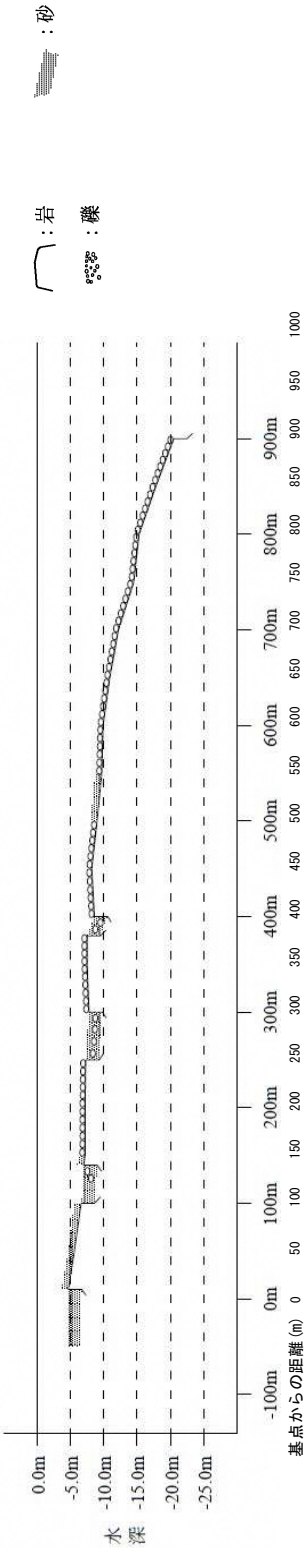
注1)「極度」とは $\text{m} \times 1\text{m}$ の方形枠(1 m^2)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の密度が50%未満であることを示す。

注2) ササ亜科、イワノカワ科は、全体極度に含めていない。

資料－8.2 海藻草類（海藻群落垂直断面分布）
（L-A-①）

Line-A(令和8年06月)

調査年月日： 令和8年6月1日
調査方法： ベルトトランセクト法
調査機関： 東北電力株式会社



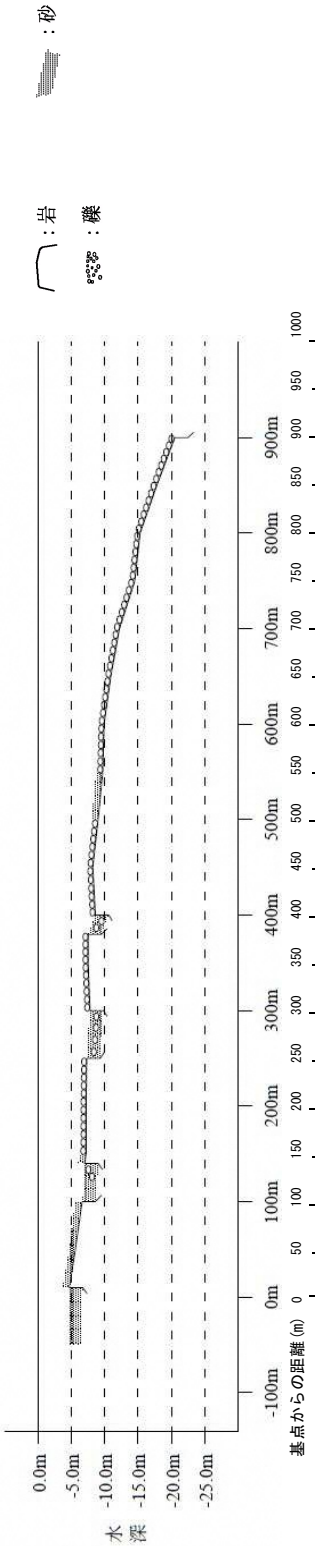
分類群	出現種／全体被度	出現種／全体被度
1 紅藻植物	カギノリ	カギノリ
2	マクサ	マクサ
3	ヨレクサ	ヨレクサ
4	オバクサ	オバクサ
5	イソノキ	イソノキ
6	ヤハズシコロ	ヤハズシコロ
7	ビリヒバ	ビリヒバ
8	サビ亜科	サビ亜科
9	ムカデノリ	ムカデノリ
10	ムカデノリ属	ムカデノリ属
11	タンバノリ	タンバノリ
12	フダク	フダク
13	キントキ属	キントキ属
14	イワノカワ科	イワノカワ科
15	ツノマタ属	ツノマタ属
16	アカハギナンソウ	アカハギナンソウ
17	カバノリ	カバノリ
18	ベニサゴ	ベニサゴ
19	ハリガネ	ハリガネ
20	ユカリ	ユカリ
21	タオヤギソウ	タオヤギソウ
22	ハネイギス	ハネイギス
23	イギス科	イギス科
24	ダリア科	ダリア科
25	ハイウスバノリ属	ハイウスバノリ属
26	ヌメハノリ	ヌメハノリ
27	ハブタエノリ	ハブタエノリ
28	ソソ属	ソソ属
29	イトグサ属	イトグサ属
30	ホソコザネモ	ホソコザネモ
31	コサネモ	コサネモ
32 褐藻植物	イシモズク	イシモズク
33	ネバリモ属	ネバリモ属
34	フクロノリ	フクロノリ
35	ハバモドキ	ハバモドキ
36	ウルシグサ	ウルシグサ
37	ケウルシグサ	ケウルシグサ
38	ワカメ	ワカメ
39	スジメ	スジメ
40	マコンブ	マコンブ

注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含まれていない。

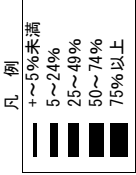
資料一8.2 海藻草類（海藻群落垂直断面分布）
(L-A-②)

調査年月日：令和8年6月1日
調査方法：ベルトトランセクト法
調査機関：東北電力株式会社

Line-A(令和8年06月)



分類群	出現種／全体被度	出現種／全体被度
41 褐藻植物	コンブ科 幼体	コンブ科 幼体
42	エゾヤハズ	エゾヤハズ
43	アミジグサ	アミジグサ
44	フクリンアミジ	フクリンアミジ
45	ウガノモク	ウガノモク
46	フシスジモク	フシスジモク
47	アカモク	アカモク
48 緑藻植物	アオサ属	アオサ属
49	シオグサ属	シオグサ属
50	ハイミル	ハイミル
51	ミル	ミル
52	ツクノイト属	ツクノイト属
53 種子植物	スガモ	スガモ

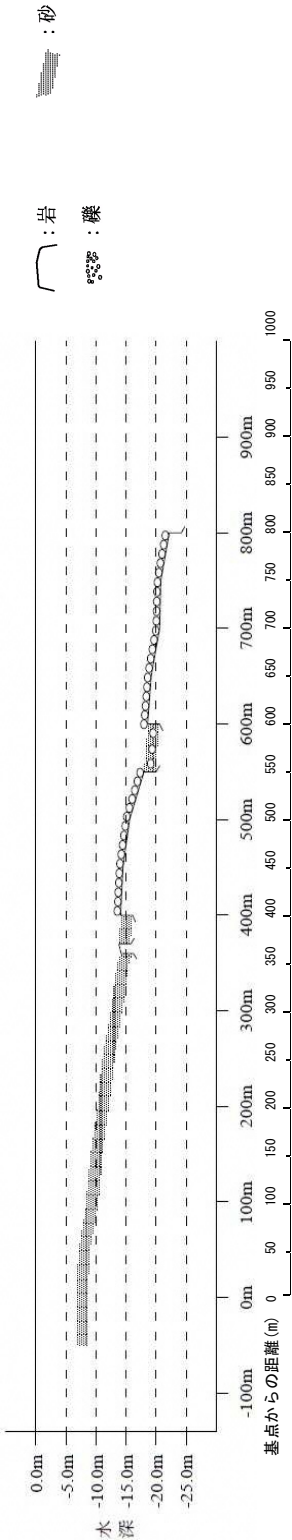


注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含まれていない。

資料－8.2 海藻草類（海藻群落垂直断面分布）
(L-B)

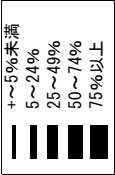
調査年月日： 令和8年6月11日
調査方法： ベルトトランセクト法
調査機関： 東北電力株式会社

Line-B(令和8年06月)



分類群	出現種／全体被度	出現種／全体被度
1 紅藻植物	カギノリ	カギノリ
2	マクサ	マクサ
3	イソノキリ	イソノキリ
4	ビリヒバ	ビリヒバ
5	サビ亜科	サビ亜科
6	イワノカワ科	イワノカワ科
7	ユルギギス属	ユルギギス属
8	ベニスナゴ	ベニスナゴ
9	ユカリ	ユカリ
10	カエルデグサ	カエルデグサ
11	アナダルス	アナダルス
12	イギス科	イギス科
13	ダジャ科	ダジャ科
14	ハイウスバノリ属	ハイウスバノリ属
15	ヌメハノリ	ヌメハノリ
16	ハブタエノリ	ハブタエノリ
17	ソゾ属	ソゾ属
18	イトグサ属	イトグサ属
19	ホソコザネモ	ホソコザネモ
20	コザネモ	コザネモ
21 褐藻植物	フクロノリ	フクロノリ
22	ウルシグサ	ウルシグサ
23	タバコグサ	タバコグサ
24	ケウルシグサ	ケウルシグサ
25	ワカメ	ワカメ
26	スジメ	スジメ
27	マコンブ	マコンブ
28	コンブ科 幼体	コンブ科 幼体
29	フシスジモク	フシスジモク
30	アカモク	アカモク
31 緑藻植物	アオサ属	アオサ属
32	ツユノイト属	ツユノイト属

凡 例

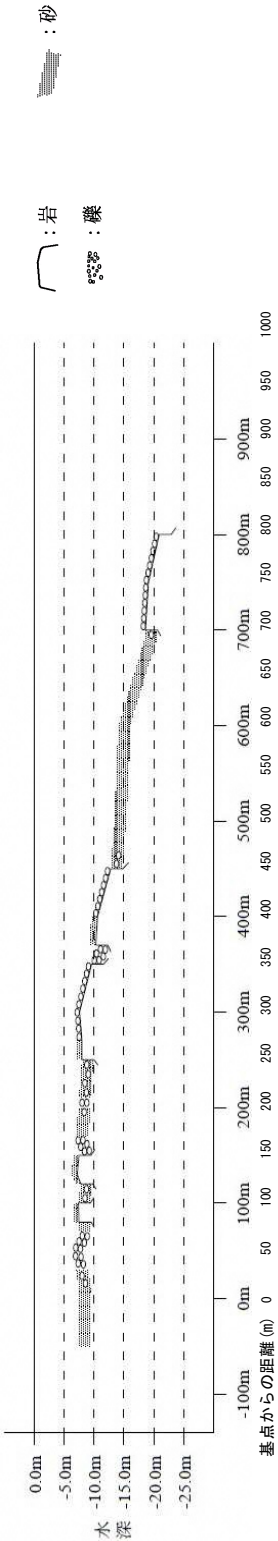


注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含まれていない。

資料－8.2 海藻草類（海藻群落垂直断面分布）
（L-C-①）

調査年月日： 令和8年5月16日
調査方法： ベルトトランセクト法
調査機関： 東北電力株式会社

Line-C(令和8年05月)



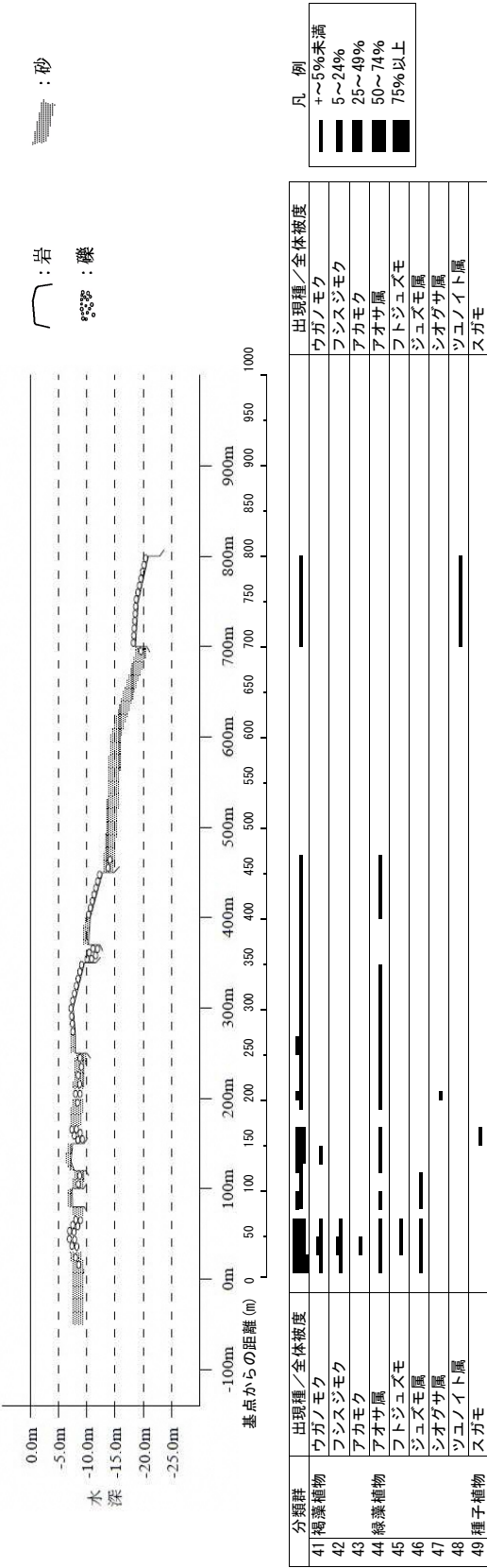
分類群	出現種／全体被度	出現種／全体被度
1 紅藻植物	アマノリ属	アマノリ属
2	カギノリ	カギノリ
3	マクサ	マクサ
4	ヨレクサ	ヨレクサ
5	オバクサ	オバクサ
6	イソキリ	イソキリ
7	ヤハズシコロ	ヤハズシコロ
8	ビリヒバ	ビリヒバ
9	サビ亜科	サビ亜科
10	タンハノリ	タンハノリ
11	フダラク	フダラク
12	キントキ属	キントキ属
13	イワノカワ科	イワノカワ科
14	ツノマタ属	ツノマタ属
15	アカバギンナンソウ	アカバギンナンソウ
16	ベニスナゴ	ベニスナゴ
17	ハリガネ	ハリガネ
18	ダルス	ダルス
19	タオヤギソウ	タオヤギソウ
20	アナダルス	アナダルス
21	イギス科	イギス科
22	ダジア科	ダジア科
23	ハイウスバノリ属	ハイウスバノリ属
24	ヌメハノリ	ヌメハノリ
25	ハブタエノリ	ハブタエノリ
26	スズシロノリ	スズシロノリ
27	ソゾ属	ソゾ属
28	イトグサ属	イトグサ属
29	ホソコザネモ	ホソコザネモ
30	コザネモ	コザネモ
31 褐藻植物	フクロノリ	フクロノリ
32	カヤモノリ	カヤモノリ
33	ハバモドキ	ハバモドキ
34	ウルシグサ	ウルシグサ
35	ケウルシグサ	ケウルシグサ
36	ワカメ	ワカメ
37	スジメ	スジメ
38	マコンブ	マコンブ
39	コンブ科 幼体	コンブ科 幼体
40	フクリンアミシ	フクリンアミシ

注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

資料一8.2 海藻草類（海藻群落垂直断面分布）
(L-C-②)

調査年月日： 令和8年5月16日
調査方法： ペルトトランセクト法
調査機関： 東北電力株式会社

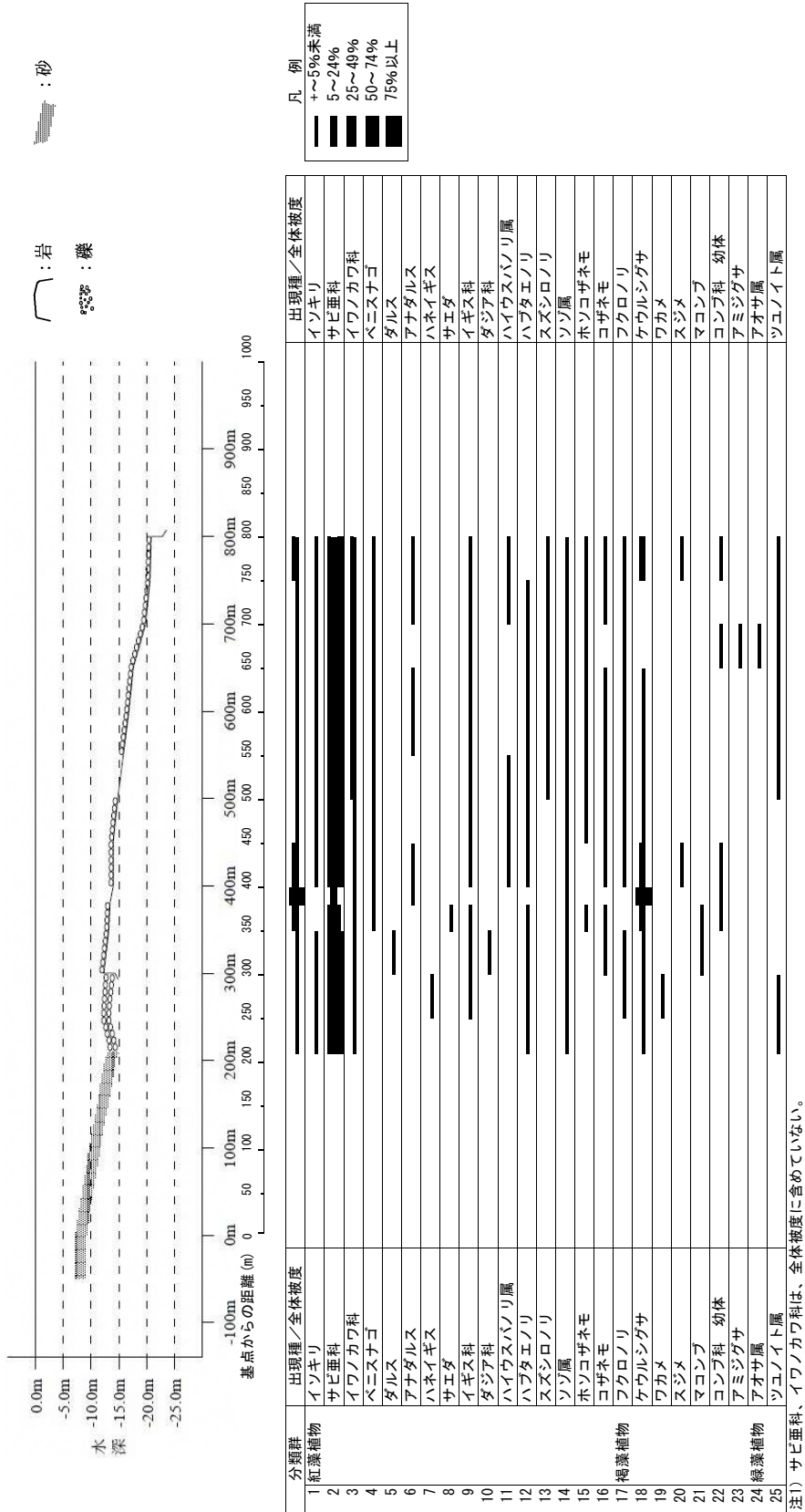
Line-C (令和8年05月)



資料－8.2 海藻草類（海藻群落垂直断面分布）
(L-D)

調査年月日： 令和8年5月15日
調査方法： ベルトトランセクト法
調査機関： 東北電力株式会社

Line-D(令和8年05月)



注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含まれていない。

資料－9 底生生物（メガロベントス）

調査年月日：令和8年5月15日～6月11日

調査方法：ペルトトランセクト法（1m×1m方形枠）

調査機関：東北電力株式会社

個体数密度（個体/m²）、被度（％）

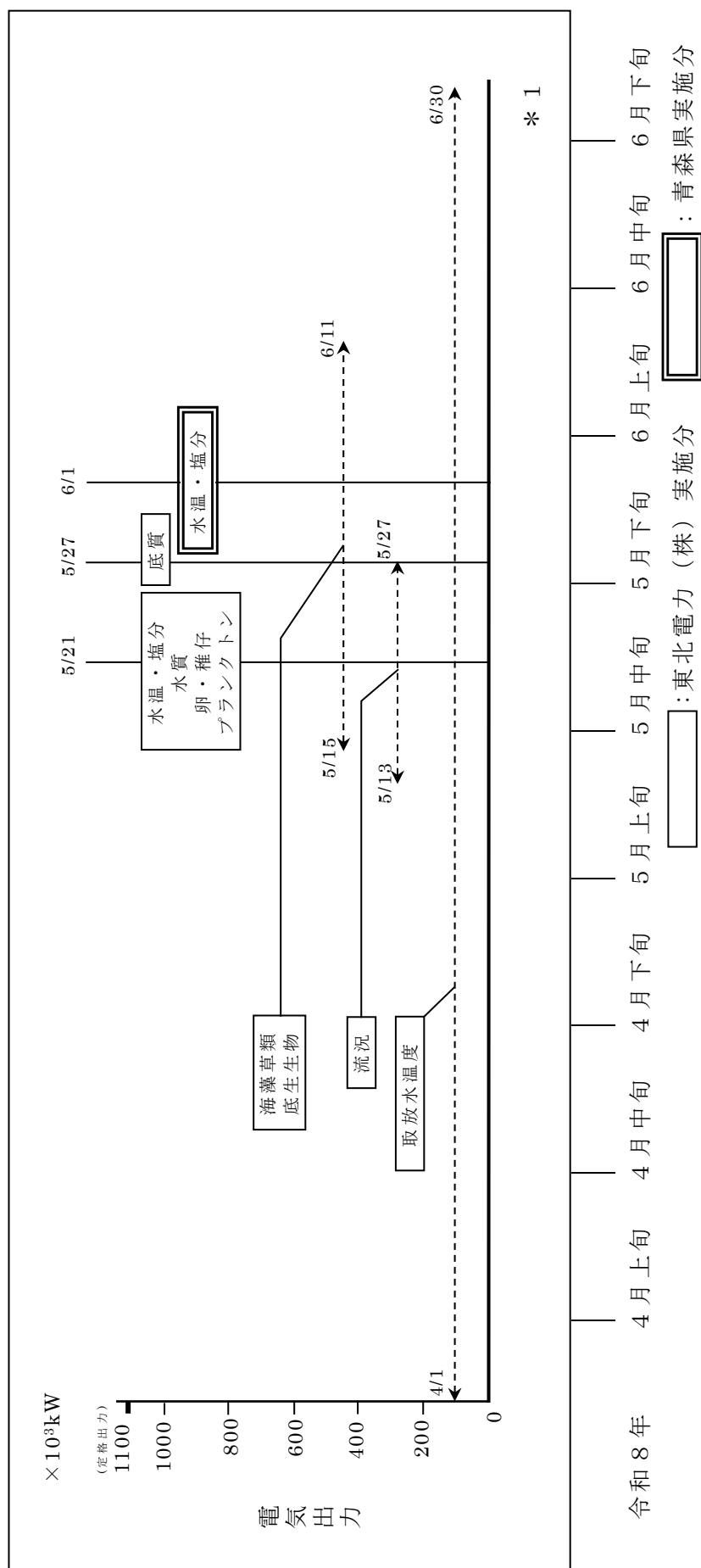
門		種名	調査測線				L-A				L-B				L-C				L-D				計				平均個体数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			調査水深 (%)				5m	10m	15m	20m	5m	10m	15m	20m	5m	10m	15m	20m	5m	10m	15m	20m	5m	10m	15m	20m	全点	5m	10m	15m	20m	全点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	海綿動物	海綿動物門																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

注1) 平均個体数欄の（ ）内数値は総数に対する組成率（％）を、個体数の0は0.5個体/m²未満であることを示す。

注2) 平均個体数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

注3) 個体数として計数できない底生生物は、1m×1m方形枠（1m²）の海底面に対して、その枠中で底生生物により覆われている面積の百分率（被度）にて表示する。調査測線（L-A～L-D）の「+」は被度が5%未満、調査測線の計および平均個体数の「+」は、出現したことを示す（被度は合計や平均ができないため）。なお、集計にあたっては出現種類数には含めるが、合計・平均個体数には含めない。

(4) 運転状況・調査スケジュール



*1：平成23年2月6日より第4回定期事業者検査のため、発電を停止しているのので電気出力は0kWとなっている。

東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書

（令和 8 年度第 1 四半期報）

発 行 令和 8 年 11 月

青森県農林水産部水産局水産振興課

〒030－8570 青森市長島一丁目 1 番 1 号

電話 （017）722－1111（内線 4660）

FAX （017）734－8166